

会 告 目 次

平成 5 年度第 35 回通常総会の開催について	2
新年度にあたって (お願い)	2
平成 5 年度各種行事の予定について	3
研究発表会開催通知	4
第 48 回 ヒューマンインタフェース研究会	4
第 60 回 マルチメディア通信と分散処理研究会	5
第 11 回 情報メディア研究会	6
第 44 回 情報システム研究会	6
第 29 回 情報学基礎研究会	7
第 83 回 コンピュータビジョン研究会	8
第 95 回 自然言語処理研究会	8
第 18 回 人文科学とコンピュータ研究会	9
第 62 回 グラフィクスと CAD 研究会	10
第 92 回 ソフトウェア工学研究会	10
第 93 回 データベースシステム研究会	
第 9 回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 (オペレーティング・システム)	11
第 12 回 プログラミング・言語・基礎・実践研究会	12
第 27 回 コンピュータと教育研究会	12
第 33 回 アルゴリズム研究会	13
「DA シンポジウム '93」論文募集	17
「音楽情報科学研究会」発足のお知らせ	18
「オーディオビジュアル複合情報処理研究会」発足のお知らせ	19
「グループウェア研究会」発足のお知らせ	20
「仕様記述の効率的適用と評価」研究グループ終了にあたって	21
平成 5 年度研究会のお知らせ	22
研究発表会開催予定 (1993 年 4 月～1994 年 3 月)	24
情報処理学会第 47 回 全国大会実施要領	29
「学会誌特集セミナ：ファジィ理論と情報処理」開催について	36
「連続セミナー 93」の開催について	38
「1993 年並列処理シンポジウム JSPP '93」開催について	40
「チュートリアル「オブジェクト指向分析・設計」開催について	46
「利用者指向の情報システムシンポジウム」の開催について	48
「学会誌特集セミナ：BDD (二分決定グラフ)」開催について	51
「Groupware '93 シンポジウム」開催について	53
「グラフィクスと CAD」シンポジウム論文募集	54
「知識のリフォーメーション」シンポジウム論文募集	55
「ODP 基本参照モデルの開発と動向」情報技術標準化フォーラム開催について	56
学会発表データサービスの総合サービス開始について	58
国際会議論文集の頒布について	59
第 12 回 分散処理システム国際会議先端技術セミナテキスト頒布について	60
Join the IEEE Computer Society	61
支部だより	64
本会協賛等の行事案内	65
会 議 案 内	66
教 官 募 集	68
雑 報	70
編 集 室	70
有料会告について	71
情報処理学会事務局組織図	72

平成 5 年度 第 35 回 通常総会の開催について

平成 5 年度通常総会を下記により開催いたします。ぜひご出席ください。なお、総会の案内状は、正会員各位に 4 月下旬別途郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。

記

日 時	平成 5 年 5 月 19 日 (水) 16:00~17:40
会 場	工学院大学 3 階 312 教室 (新宿区西新宿 1-24-2)
総会次第	1. 会長のあいさつ 2. 平成 4 年度事業報告および決算報告 3. 平成 5 年度事業計画および予算審議 4. 名誉会員の推挙 5. 平成 4 年度功績賞の発表と表彰 6. 平成 4 年度論文賞の発表と表彰 7. 平成 4 年度 Best Author 賞の発表と表彰 8. 平成 4 年度坂井記念特別賞の発表と表彰 9. 平成 5 年度新役員の選定 10. その他

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ(無料)を行います(エステック情報ビル 4 階)。会員が一堂に会し、直接にお話しできる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

新年度にあたって (お願い)

——学会誌の送本先変更, 新入会員勧誘など——

新年度にあたって、会員の皆さまにつきの点につきましてご協力いただきますよう、お願いいたします。

(1) 学会誌送本先の住所等の変更について

勤務先、自宅住所に変更のある方は、本号末尾綴込みの「変更連絡届」にて早急にご連絡ください。変更の受付は毎月 20 日に締切り、翌月号から変更いたします。21 日以降受付分の変更は翌々月号からとなりますのでご注意ください。

(2) 論文誌の新規購読のおすすめ

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊)は、有料頒布となっております。また、本年 1 月発行の第 34 巻 1 号から英文論文も掲載され、表紙デザインも一新するなど新しい装いの論文誌となりました。

11 月号本欄でお知らせしたとおり、欧文誌「JIP」は Vol. 15 をもって休刊となりましたので、欧文誌の購読者はぜひ新論文誌をご購読くださいますようお願いいたします。

新規に購読を希望される方は、2 月号本欄添付の購読申込書(コピー可)によりお申込みください。

※変更, 新規購読等ご連絡の場合には必ず会員番号を明記してください。

(3) 会費等の預金口座自動振替のおすすめ

正会員(一括扱いの会員は除く)の方は、会費および購読費のご納入の際に、預金口座からの自動振替をご利用いただけます。

平成 6 年度会費から振替納入を希望される方は、所定の振替依頼書(事務局会員係へお問合せください)によりお申込みください。

(4) 新入会員勧誘のお願い

4 月は入会に絶好のチャンスです。3 月号末尾綴込みの入会申込書(B5 判)で、入会をご勧誘ください。情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方、関心をお持ちの方の入会をお待ちしております。

なお、旧の入会申込書(A4 判)は使用しないでください。

平成5年度各種行事の予定について

4月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場が変更されることもありますので、ご留意ください。

(行 事)	(期 日)	(会 場)
第35回 通常総会	5・19 (水)	工学院大学
第47回 全国大会	10・6 (水)～8 (金)	鳥取大学
第48回 全国大会	平成6年	(未 定)
平成5年電気・情報関連学会連合大会 (共催)	8・30 (月)～31 (火)	早稲田大学
~~~~~		
(シンポジウム)		
1993年並列処理	5・17 (月)～19 (水)	早稲田大学
利用者指向の情報システム	6・18 (金)～19 (土)	日本ユニシス
マルチメディアと通信インフラ	7・8 (木)	工学院大学
第26回 情報科学若手の会	(未 定)	東北大学
夏のシンポジウム	7・19 (月)～21 (水)	北海道・池田町
DA シンポジウム '93	8・26 (木)～28 (土)	南風荘 (蒲郡市)
メディアと情報処理	9・9 (木)～10 (金)	(未 定)
グラフィクスと CAD	9・21 (火)～22 (水)	工学院大学
コンピュータシステム	10・20 (水)～21 (木)	工学院大学
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	11・17 (水)～19 (金)	山形大学
知識のリフォーメーション '93	11・25 (木)～26 (金)	東京工業大学
アドバンスト・データベース・システム	12・2 (木)～3 (金)	工学院大学
初等中等教育における計算機教育	12・7 (火)～9 (木)	工学院大学
第35回 プログラミング・シンポジウム	平成6年 1・11 (火)～13 (木)	ホテル小涌園 (箱根)
プログラミング環境	(未 定)	(未 定)
(連続セミナー)		
CASE の問題点と今後の方向	5・13 (木)	工学院大学
社会と文化とグループウェア	7・15 (木)	工学院大学
コンピュータネットワークの今後	9・16 (木)	工学院大学
情報家電の将来性	11・18 (木)	工学院大学
ヒューマニティ時代への布石	平成6年 1・20 (木)	工学院大学
情報セキュリティ	平成6年 3・17 (木)	工学院大学
(講習会)		
オブジェクト指向分析・設計	5・27 (木)～28 (金)	工学院大学
自然言語処理	(未 定)	(未 定)
情報メディア	9・28 (火)～29 (水)	工学院大学
アドバンスト・データベース・システム	12・1 (水)	工学院大学
講演会 (教育)	12・16 (木)	工学院大学
情報学	平成6年 1・17 (月)	日本学術会議講堂
(共 催)		
テレマティックス (仮)	(未 定)	(未 定)
第24回 画像工学コンファレンス	12・8 (水)～10 (金)	ABC 会館
情報学シンポジウム	平成6年 1・18 (火)～19 (水)	日本学術会議講堂
(国際会議共催)		
ISADS: Int'l. Symposium on Autonomous Decentralized Systems	3・30 (火)～4・1 (木)	日立システムプラザ新川崎
DASFAA: 3rd Int'l. Symposium on Database Systems for Advanced Applications	4・6 (火)～8 (木)	Taejon, Korea

研究発表会開催通知

(平成5年4月15日～5月31日)

研 究 会 名	日 時		会 場	備 考
音 楽 情 報 科 学	4 月23日(金)	14：00～16：45	I C O T	前号参照
ハ イ パ フ ォ ー マ イ ン ス (数 イン ピ ュ ー 解 析)	4 月26日(月)	10：00～17：30	K K R 東 京 竹 橋 会 館	同 上
グ ル ー プ ウ ェ ア	4 月28日(水)	10：00～17：00	機械振興会館	同 上
ヒ ュ ー マ ン イ ン タ フ ェ ー ス	5 月13日(木) 5 月14日(金)	11：00～17：00 10：30～17：00	慶 大(藤沢)	下記参照
マルチメディア通信と分散処理	5 月14日(金)	10：00～17：10	N T T デ ー タ	同 上
情 報 メ デ ィ ア	5 月14日(金)	10：00～17：00	早 大	同 上
情 報 シ ス テ ム	5 月18日(火)	10：00～16：00	工 学 院 大	同 上
情 報 学 基 礎	5 月18日(火)	10：00～15：40	機械振興会館	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	5 月20日(木)	13：30～17：10	名 大	同 上
自 然 言 語 処 理	5 月20日(木) 5 月21日(金)	10：00～18：40 10：00～16：00	福 岡 工 大	同 上
人 文 科 学 と コ ン ピ ュ ー タ	5 月21日(金)	10：00～16：30	京 都 工 繊 大	同 上
グ ラ フ ィ ク ス と C A D	5 月21日(金)	13：15～17：30	情報処理学会 (新 宿)	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	5 月26日(水)	13：00～17：20	工 学 院 大	同 上
デ ー タ ベ ー ス シ ス テ ム シ ス テ ム ソ フ ト ウ ェ ア と オ ペ レ ー テ ィ ン グ ・ シ ス テ ム (オ ペ レ ー テ ィ ン グ ・ シ ス テ ム)	5 月27日(木) 5 月28日(金)	10：30～17：00 9：30～15：00	電 総 研	同 上
合同				
プ ロ グ ラ ミ ン グ 一 言 語 ・ 基 礎 ・ 実 践	5 月28日(金)	10：00～17：00	工 学 院 大	同 上
コ ン ピ ュ ー タ と 教 育	5 月28日(金)	13：00～16：00	同 上	同 上
ア ル ゴ リ ズ ム	5 月28日(金) 5 月29日(土)	9：30～17：10 9：00～12：40	名 大	同 上

◆ 第48回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 9件)

(主査: 安西祐一郎, 幹事: 井関 治, 小川克彦, 来住伸子)

日時 平成5年5月13日(木) 11:00～17:00  
5月14日(金) 10:30～17:00

会場 慶應義塾大学 理工学部

[横浜市港北区日吉 3-14-1, 東横線: 日吉下車, 徒歩10分. Tel. 045 (563) 1141 内 3346]

議題

5月13日(木)

—11:00～12:20—

(1) ネットワークサービスへのビジュアルなアクセス環境の提案

水梨 潤 (慶大)

[概要] ネットワークを通じて提供されるサービスを簡単に利用できるインタフェース「MAP&ROOM」の提案.

## (2) 人間の空間情報処理能力を活用したユーザインタフェース: Book Window

工藤正人 (慶大)

〔概要〕 Book Window システムライブラリについての提案と、その有効性の評価。

—13: 30~17: 00—

## (3) 手書きによる創作支援環境の試作

加藤直樹, 中川正樹 (農工大)

〔概要〕 手書き対話による創作活動を行うための、認識処理やデータベース等を統合するシステムの提案と試作。

## (4) オンライン手書き数式認識システム「METAH」の試作

村瀬敦史, 佐藤 俊, 中川正樹 (農工大)

〔概要〕 数式を解きながら入力することを指向した手書き数式認識システムの試作, およびその UI に関する考察。

## (5) テンプレートメタファによる手書き作図インタフェースの試作

福田奈津子, 中川正樹 (農工大)

〔概要〕 表示一体型タブレットに仮想のテンプレートを表示し、その操作によって作図を行う環境の試作。

## (6) 見学: 安西研究室 (慶大理工学部)

5月14日 (金)

—10: 30~11: 50—

## (7) シールロボットの機能獲得に関する研究

熊野和恵, 山本吉伸, 安西祐一郎 (慶大)

〔概要〕 既存の日用品を知能化するシールロボットを提案し、機能獲得の概念および実装例について報告。

## (8) 仮想空間における自然な操作

加藤伸子, 土井美和子, 岡崎彰夫 (東芝)

〔概要〕 仮想空間と実空間を関数を用いて対応づける方法とその評価結果の報告。

—14: 00~15: 20—

## (9) 次候補表示方法の入力効率に及ぼす影響について

今村浩一郎, 宗森 純, 長澤庸二 (鹿児島大)

〔概要〕 かな-漢字変換の次候補をネガティブ, ポジティブ, ハイライトで表示した比較結果。

## (10) 操作の繰り返しによるマクロの自動生成

増井俊之 (シャープ)

〔概要〕 以前のキー入力列から繰り返しを抽出することによりエディタのキーボードマクロを生成するシステム。

—15: 30~17: 00—

## ●連続企画「ディベート on インタフェース」第1回

テーマ: これからの HI 研究と社会に与える影響

—現状のマルチメディア/HI 研究は研究者のキャリアの浪費か?

—21世紀に向けての HI 研究者の果たすべき役割は?

ディベーター: 浜野保樹 (放送教育開発センター) VS. 安西祐一郎 (慶大)

座長: 竹林洋一 (東芝)

趣旨: コンピュータと通信の高速大容量化と高機能化が進展するなか, HI 研究も年々盛んとなり, 従来の GUI の研究から, 社会や環境を意識した, 知能ロボット, VR, CSCW などのメディア技術へと進化しています。HI の社会性あるいは環境による影響について, ユーザと HI 研究者との視点から, 21世紀に向けた人間中心の HI 研究のあり方について, ディベートを通じて会員とともに考える機会を持ち, 研究のモラル向上を図りたいと思います。

*懇親会: 14日のディベート終了後に予定しています。(14日のお昼休みのスポーツにもご参加ください。)

## ◆第60回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 白鳥則郎, 幹事: 鈴木健二, 滝沢 誠, 寺中勝美)

日 時 平成5年5月14日 (金) 10: 00~17: 10

会 場 NTT データ通信 開発本部

(川崎市幸区堀川町 66-2 興和川崎西口ビル9階, JR: 川崎 (西口) 下車, 徒歩約10分. Tel. 044 (548) 4545)

議 題 特集: マルチメディアと高速通信

—10: 00~12: 00—

## (1) 政策的経路制御とその動向

村山優子 (慶大), 曾根文樹 (日立電線)

〔概要〕 独立した網運営方針を持つ組織の間の経路制御として注目されている政策的経路制御の紹介。

## (2) Internet における OSPF による経路制御

串田高幸, 川副 博 (日本 IBM), 右手正道, 後藤幸功 (東理大)

〔概要〕 経路制御に OSPF を利用して広域ネットワークを構築したときの諸問題に関する発表。

## (3) パースト的な高速通信システムにおける負荷分散方法

日野村聡, 濱田 晃, 藤田克孝 (NTT)

〔概要〕 端末からの情報の一斉送受信に対して, 網品質低下を抑制する適切な負荷分散方法を提案する。

## (4) グループ通信プロトコルにおけるレート制御方式

中村章人, 滝沢 誠 (電機大)

〔概要〕 高速通信網上での, 転送レートに基づく複数エンティティ間のフロー制御方式を述べる。

—13: 20~17: 10—

## (5) 相互接続試験システム AICTS の機能検討

高橋健一, 似内 聡, 後藤邦弘, 石幡吉則 (AIC), 高橋 薫 (東北大)

〔概要〕 相互接続試験システムに必要となる機能と, それらの構成について検討した結果を報告する。

(6) ATOMLAN (ATm Oriented Multimedia Lan) におけるアドレッシング方式

森 直樹, 岩田 淳, 鈴木 洋 (NEC)

〔概要〕 ATM 網を用いたインターネットワーキングを考慮して, ATM-LAN でのアドレス体系を提案する。

(7) 高速ホストインタフェースを持つ FDDI 通信ボードの開発

三宅 優, 石倉雅己, 加藤聰彦, 鈴木健二 (KDD)

〔概要〕 ホスト・ボード間で DMA 転送やプログラム転送を適宜選択できる FDDI 用通信ボードについて述べる。

(8) 分散環境に適したマルチメディア制御モデル

米田 健 (慶大)

〔概要〕 分散マルチメディアアプリケーションを構築するために必要となるマルチメディア制御モデルを提案。

(9) マルチメディア会議システムにおけるバンド幅の動的割り当てと動画像の画質制御

篠崎雅英 (日本 IBM)

〔概要〕 ISDN-Net 64 での動画・音声・データの動的バンド幅変更と動画像の画質最適化を論じる。

(10) マルチメディア通信プロトコル (MMCP) を用いたプレゼンテーションシステムにおける同期方式の評価

大坪靖司, 梶浦正規, 坂田洋幸, 玉置政一, 菅野政孝 (NTT データ)

〔概要〕 伝送時間等の差異を吸収し, 指定したタイミングでメディアを再生する同期方式について評価する。

(11) マルチメディア統合環境におけるリアルタイム通信プロトコルへの課題

南部 明, 木原誠司 (NTT), 徳田英幸 (慶大/CMU), 塩野崎敦 (慶大), 福島英洋 (日立)

〔概要〕 分散マルチメディア環境を実現するために必要な時間的正当性を保証できるプロトコルについて述べる。

## ◆ 第 11 回 情報メディア研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 相磯秀夫, 幹事: 石塚英男, 上林憲行, 田中 譲, 中川 透)

日 時 平成 5 年 5 月 14 日 (金) 10: 00~17: 00

会 場 早稲田大学 総合学術情報センター

〔東京都新宿区西早稲田 1-6-1, JR: 高田馬場下車, バス: 早稲田大学正門行, 地下鉄(東西線): 早稲田下車, 徒歩 10 分. Tel. 03 (3204) 2253〕

議 題 —10: 00~12: 00—

(1) 見学: 早稲田大学総合学術情報センター (10: 00~11: 00)

### ● 一般発表

(2) 人工現実感を用いた音情報検索

大木直久 (慶大)

〔概要〕 従来の音情報検索の欠点を補うため音による人工現実感を用いた人間的なインタフェースを実現した。

—13: 00~17: 00—

### ● 特集: ユーザにとっての情報メディアを検証する: マスコミ・ミュージアム・ライブラリ

(3) 早稲田大学総合学術情報センターの情報システムとユーザ

菅原 通 (早大)

〔概要〕 本学の学術情報システム (WINE) が利用者に提供している機能と今後の課題およびネットワーク。

(4) 立命館大学におけるキャンパス LAN 計画について

郷端清人 (立命館大)

〔概要〕 学園全体の諸機能の高度化と新たな水準での教育・研究・学習の推進を支援する情報基盤整備について。

(5) 博物館の情報管理におけるネットワークと情報メディアの考え方

石倉亮治 (千葉県立中央博物館)

〔概要〕 博物館を効果的に活用するためのシステム化について, 千葉県立博物館情報システムを例に検証する。

(6) 新聞は読者の要請にいつまで応えられるか

森本英之 (朝日新聞社)

〔概要〕 天気予報は日単位では当たらないことが多い。この非線形科学に触発されて 21 世紀の新聞像を予測する。

## ◆ 第 44 回 情報システム研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 上野 滋, 幹事: 内木哲也, 中嶋間多, 初瀬川茂)

日 時 平成 5 年 5 月 18 日 (火) 10: 00~16: 00

会 場 工学院大学 11 階 第 8 会議室

〔東京都新宿区西新宿 1-24-2, JR: 新宿 (西口) 下車, 徒歩約 10 分. Tel. 03 (3342) 1211〕

議 題 特集: オブジェクト指向と情報システム

—10: 00~12: 00—

(1) オブジェクト指向の CASE

竹下 亨 (中部大)

〔概要〕 言語のみでなく分析・設計の方法論もいくつか出現しているのでこれらを支援するツールをサーベイする。

## (2) オブジェクト指向 CASE 方法論 竹林則彦 (ナレッジブレン)

〔概要〕 オブジェクト指向に基づく統合 CASE ツール向けの方法論である OOIE について解説する。

## (3) ビジネスモデリングへのオブジェクトの適用

寺島哲史 (中央クーパース・アンド・ライブランドコンサルティング)

〔概要〕 D. テイラー等の著作内容、および C&amp;L での考え方と取り組み内容を紹介する。

—13:00~16:00—

## (4) いかにしてオブジェクトを見つけたか —現場からの CAD アプリケーション開発の実践報告—

谷萩裕之 (富士通), 小川 亘 (富士通東京システムズ)

〔概要〕 顧客ノウハウをオブジェクト指向 AI 言語 (FORTRAN/KR) でモデル化した報告。

## (5) オブジェクト指向再利用部品の有効活用と構築に関する考察 中谷多哉子, 春木良旦 (富士ゼロックス)

〔概要〕 再利用上の問題を、開発組織、利用組織に分けて考察し、標準化が抱える問題点について論ずる。

## (6) オブジェクト指向技術のマッピングシステム開発への応用について 西村香介 (東京ガス)

〔概要〕 マッピングシステムの機能向上、開発効率化実現のためのオブジェクト指向技術導入について述べる。

## (7) オブジェクト指向技術を利用した CAI システムの開発 橋田 明, 山田繁夫 (日本ユニシス)

〔概要〕 UNIX をプラットフォームとする CAI システムの開発に当たって利用したオブジェクト指向技術。

## ◆ 第29回 情報学基礎研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 細野公男, 幹事: 石塚英弘, 中川 優, 尹 博道)

日 時 平成5年5月18日 (火) 10:00~15:40

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR: 浜松町下車, バス: 渋谷—東京タワー線東京タワー, 渋谷—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel. 03 (3434) 8211〕

## 議 題 特集: テキスト処理から電子図書館システムへ

—10:00~12:00—

## ● テキスト処理: 全文 DB の構築と検索, 論文主題の自動抽出

## (1) 日本化学会欧文誌の SGML 形式全文データベースの構築・印刷そして検索

石塚英弘 (情報大), 伊藤 卓 (横浜国大), 榎 敏明 (東工大)

千原秀昭 (化情協), 中西敦男 (化学会), 田中洋一 (凸版印刷)

〔概要〕 日本化学会欧文誌は図表を含む全文データベースとなったが、その構築・印刷と CD-ROM 検索を述べる。

## (2) 論文段落を対象とした日本語全文データベースの検索 野末道子, 上田修一 (慶大)

〔概要〕 情報処理分野の論文の各段落を単位とし、章節名等を利用した索引・検索手法の検索実験を行った。

## (3) 主題文を対象とした索引語の自動抽出 原田隆史, 細野公男 (慶大), 諸橋正幸, 野見山浩 (日本IBM)

〔概要〕 文献の主題概念を表す語を効果的に抽出するため、主題を表す文を自動的に同定する手法を開発した。

—13:00~15:40—

## (4) 英文科学技術抄録文の理解と翻訳 松尾文碩, 竹田正幸 (九大)

〔概要〕 抄録文の統語解析, 意味構造, 専門語句の英日翻訳についてこれまでの成果と今後の展望を述べる。

## (5) 特定表現の重点解析による科学技術論文構造化手法 西村健士, 島津秀雄 (NEC)

〔概要〕 技術論文の主題構成と各主題に特徴的な言語表現を整理し、それらの解析による文章構造化手法を提案。

## ● 電子図書館システム

## (6) 分散環境を利用した CD-ROM オンラインカタログシステム

藤田岳久, 阪口哲男, 杉本重雄, 田畑孝一 (情報大)

〔概要〕 CD-ROM を利用して開発した OPAC の構成法, GUI, および性能評価について述べる。

## (7) 学術文献を対象とした電子図書館システムの構成法 安達 淳, 橋爪宏達, 高須淳宏 (学情センター)

〔概要〕 広域網上で稼働する統合的な文献情報システムの実装法について報告する。

## ◆ 第 83 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数：6 件)

(主査：杉原厚吉，幹事：井宮 淳，谷口倫一郎，長谷川純一)

日 時 平成 5 年 5 月 20 日 (木) 13:30~17:10

会 場 名古屋大学 大型計算機センター 4 階 演習室

(名古屋市千種区不老町，JR：名古屋下車，地下鉄 (東山線)：本山下車，徒歩 15 分または市バス (平針住宅行き/島田住宅行き)：名大前下車，Tel. 052 (781) 5111 内 5680 岡田)

### 議 題

- (1) 分散による多重解度制御を用いた解の推定 武川直樹 (NTT)
- (2) 最大最小曲率線ネットによる自由曲面の表現 吉見 隆，富田文明 (電総研)
- (3) トップダウン機構による視覚モデルの構成 鈴木信也 (三洋電機)，平井有三 (筑波大)
- (4) 人間の感性を利用した画像編集 西山晴彦，饗場 潔，金 寿美，熊平 誉，横山光男，松下 温 (慶大)
- (5) ファジィ推論を応用したカラー画像の輪郭抽出

亀倉 龍，田代秀夫，伊東直子，横山光男，松下 温 (慶大)

- (6) 試作結果に基づく高速画像処理用並列計算機 RIPE の性能評価

本沢邦朗，平岡久和，今井正治 (豊橋技科大)，長谷川純一 (中京大)

- (7) 見学：杉江研究室および鳥脇研究室 (16:30~17:10)

*同会場にて，20日，21日の両日，電子情報通信学会 (パターン認識・理解研究会) が開催されます。また，20日の夕刻より同研究会との合同懇親会を予定しています。

## ◆ 第 95 回 自然言語処理研究会

(発表件数：18 件)

(主査：野村浩郷，幹事：永井秀利，林 良彦，丸山 宏)

日 時 平成 5 年 5 月 20 日 (木) 10:00~18:40

21 日 (金) 10:00~16:00

会 場 福岡工業大学

(福岡市東区和白東 3-30-1，鹿児島本線：筑前新宮下車 (博多駅から上り普通電車で約 20 分)，徒歩 5 分。  
Tel. 092 (606) 3131)

### 議 題

5 月 20 日 (木)

- (1) 漢字仮名変換を用いた仮名漢字変換率評価 清水 徹，橋本和夫，山本誠一 (KDD 研)  
〔概要〕 形態素解析を用いた漢字仮名変換精度の仮名漢字変換率への影響について定量的に評価を行った。
- (2) 一般化 LR 法を用いた形態素解析と構文解析の統合 相澤道雄，徳永健伸，田中穂積 (東工大)  
〔概要〕 形態素間の接続関係を反映するように LR 表を修正し，形態素解析と構文解析を統合する。
- (3) 統合的自然言語処理のための一般化されたチャート法 伝 康晴 (ATR)  
〔概要〕 構文解析手法として使われているチャート法を拡張し，統語・意味・談話情報の統一的処理に用いる。
- (4) 動詞の機能に基づく法律文の制限言語モデル 長野 馨，永井秀利，中村貞吾，野村浩郷 (九工大)  
〔概要〕 述語動詞の分析によって得られる格パターンを組込んだ法律文の制限言語モデルを提案する。
- (5) マルチモデル継承推論エンジンを用いた英語意味解析システムによる大規模概念辞書の実証評価環境の実現 藤田澄男 (日本コンピュータ研究所)，内田安彦 (EDR)  
〔概要〕 商用翻訳システムと同規模の意味解析システムによる概念辞書の実証評価の実現とその諸問題について。
- (6) 日本語表層表現を手がかりとした名詞の指示性と数の推定 村田真樹，黒橋禎夫，長尾 真 (京大)  
〔概要〕 依存構造解析後の日本語文中の名詞の指示性と数を表層表現を手がかりとした規則によって推定する。
- (7) テンス・アスペクトを考慮した物語文章における事象間の時間関係の抽出 江良浩一，甲斐郷子，中村順一，吉田 將 (九工大)  
〔概要〕 物語文章中の登場者の動作の時間的前後関係を，接続詞やテンス・アスペクト表現を考慮して決定する。
- (8) 単語の結束性にもとづいてテキストを場面に分割する試み 小嶋秀樹，古郡延治 (電通大)  
〔概要〕 意味的に一貫した場面を，テキスト上を移動する幅一定の窓から見える単語列の類似度から認識する。
- (9) 結束チャートの自動生成と日本語文章の語彙的結束構造解析への応用 佐々木一朗，増山 繁 (豊橋技科大)，内藤昭三 (NTT)  
〔概要〕 談話構造解析の一手法として結束チャートを提唱し，その自動生成法とそれを用いた文章の結束性解析。
- (10) 対話の分析一応答に着目して— 島津 明，川森雅仁，小暮 潔 (NTT)  
〔概要〕 日常作業における実際の対話について，応答に着目した分析を報告する。
- (11) ユーザ発話文の解析に基づく発話意図認識手法の提案 熊本忠彦，伊藤 昭 (通信総研)  
〔概要〕 対話システムのためのユーザ発話 (話し言葉) の意味解析手法を実発話文の解析に基づいて提案する。



## 5月21日(金)

- (12) 日英対訳文間の構造照合 石本浩之, 宇津呂武仁, 松本裕治, 長尾 真 (京大)

〔概要〕 日英対訳文間で文の内部構造を照合するアルゴリズムを考案したので, それについて報告する。

- (13) 日英機械翻訳における原文自動書き替え型翻訳方式とその効果 白井 諭, 池原 悟, 河岡 司 (NTT)

〔概要〕 原文自動書き替え機能の概要とそれを組み込んだ MT システムの翻訳品質向上効果等について述べる。

- (14) Semantic-level Transfer in Japanese-German Speech Translation: Some Experiences

Mark Seligman, Masami Suzuki, Tsuyoshi Morimoto (ATR)

〔概要〕 音声言語翻訳の日英版を日独版へ拡張するに際して行った, 処理内容の再構築と今後の課題について。

- (15) English-Japanese Transfer for Dialogue Translation by ASURA framework

Mutsuko Tomokiyo, Masami Suzuki (ATR)

〔概要〕 音声言語翻訳の英日変換過程で, 素性構造の書き換え手法を用いた処理に関する言語学的考察について。

- (16) 音声ガイドシステムにおける全文検索結果の利用法

酒井桂一, 山田雅章, 伊藤史朗, 小森康弘, 池田裕治, 藤田 稔 (キャノン)

〔概要〕 観光情報 CD-ROM の全文検索結果を動的に対話情報として利用してガイダンスを行う。

- (17) 文章作成支援システム 高尾直弥, 恒川昌昭, 川原千尋, 辻 敦生, 對馬常人, 杉村領一 (松下電器)

〔概要〕 文生成において定型文特有のフレーズ単位メタ知識を利用した文書作成支援システムを紹介する。

- (18) 言語活動と情報処理について

田中康仁 (愛知淑徳大)

〔概要〕 自然言語処理研究が進み成果が発表され利用されてきた。今後の活動の方向を探り, その結果を発表する。

*懇親会: 20日に予定しています。多数ご参加ください。

*今回の研究会は電子情報通信学会 (言語理解とコミュニケーション研究会) との共催で開催されます。上記会告は, 3月9日現在の申込みによるもので, 上記期日以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌 4月号に掲載されますのでご了承ください。

## ◆ 第18回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 及川昭文, 幹事: 竹内 健, 長瀬真理, 八村広三郎)

日 時 平成5年5月21日(金) 10:00~16:30

会 場 京都工芸繊維大学 大会館 3階 会議室

〔京都府京都市左京区松ヶ崎御所街道町, JR: 京都下車, 市バス (14番・松ヶ崎行き): 京都工芸繊維大前下車 (約50分). Tel. 075 (791) 3211〕

## 議 題

—10:00~12:00—

- (1) 江戸図における街区歪みの表現法と江戸図のコンピュータ処理 黒川隆夫 (京都工繊大)

〔概要〕 江戸図の近代図上への再マッピング, 方位距離歪みの表現など江戸図活用の促進に必要な手法を提案。

- (2) オブジェクト指向によるチベット活字文献からの文字パターン識別

小島正美 (東北工大), 布宮千夏子 (米沢高技専), 川村隆庸 (日本IBM)

秋山庸子, 川添良幸 (東北大), 木村正行 (北陸先端大)

〔概要〕 オブジェクト指向モデルにより, チベット文献の1音節構造を決定するシミュレーションを行った。

- (3) 暦日研究における計算機利用の一形態

湯浅吉美 (成田山仏教研究所)

〔概要〕 作成作業のアルゴリズムを紹介しつつ, プログラムレス志向に対する抵抗の足跡を回顧する。

—13:30~16:30—

- (4) 計算機用日本語辞書の開発

桑畑和佳子, 橋本三奈子, 村田賢一 (IPA)

〔概要〕 既に当協会で作成し公開している基本動詞辞書と基本形容詞辞書及び現在開発中の基本名詞辞書の概要。

- (5) SGMLによる全文テキストDBシステム

高橋由美子 (凸版印刷)

〔概要〕 文書構造を記述する言語 SGML を用いて開発した全文 DB 作成システムとその利用例を紹介する。

- (6) テキストデータベースを利用した研究情報検索

春山曉美 (愛知淑徳大)

〔概要〕 化学物質に関する種々な情報の検索, 及び研究文献データベースの改良に利用した例について述べる。

- (7) 音声翻訳システム ASURA の開発

浦谷則好, 森元 進, 谷戸文廣 (ATR)

〔概要〕 ATR 自動翻訳電話研究所における研究と開発した自動翻訳電話のプロトタイプの特徴を報告する。

- (8) 博物館におけるハイパーメディア利用者の意識調査

山田奨治 (筑波技術短大), 洪 政国 (日本IBM), 杉田繁治 (民博)

〔概要〕 国立民族学博物館特別展でのハイパーメディア利用実験の概要と, 利用者アンケートの解析結果。

- (9) デモンストレーション: ①連続音声認識システム, ②音声分析・合成システム (京都工繊大, 新美研究室)

## ◆ 第62回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数：6件)

(主査：西原清一，幹事：大野義夫，福井一夫，間瀬健一)

日時 平成5年5月21日(金) 13:15~17:30

会場 情報処理学会 会議室(新宿)

[東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27階, JR:新宿(西口)下車, 徒歩10分.]

Tel. 03 (5322) 3535]

### 議題

(1) ファジィ構造分析を用いた画像検索システム 北島 努(ユードム), 中村和男(生命工学工業技研)

[概要] 対象カテゴリと特徴カテゴリの適合度反応データを用いるファジィ構造分析手法の, 画像検索への応用.

(2) 文字フォントのための曲線の自動あてはめ手法 伊藤浩市, 大野義夫(慶大)

[概要] 原字を取り込んだ濃淡画像から, 3次ベジェ曲線によるアウトラインフォントを自動的に生成する手法.

(3) プラントレイアウト CAD とそれを用いた設計支援システムの開発

高橋一重, 福田智美, 沼上英雄, 澤田順夫(東芝)

[概要] 対話的にレイアウトを行えば運転最適化とその結果の表示まで一貫してシステムがサポートする.

(4) CAD 用3次元形状入力装置 二槌木睦子, 池谷和俊, 津田幸文(松下技研)

[概要] 高精度レンジファインダにより対象物の形状計測データをスプライト関数に近似してCADに入力.

(5) レーザとシルエットを併用した人物頭部形状の入力と生成 渡部保日兄, 山名岳志, 中根一成(NTT)

[概要] 頭髮領域まで含めた形状およびテクスチャ入力と, その特性を用いた頭部像生成手法について述べる.

(6) CG のための樹木の生長モデル 一架空の植物ホルモンによる樹形の制御—

大川俊一, 千葉則茂(岩手大)

[概要] 架空の植物ホルモンの存在を仮定し, 形状形成に重要な樹木の性質の制御を行う生長モデルを提案する.

## ◆ 第92回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数：6件)

(主査：磯田定宏，幹事：青山幹雄，大蒔和仁，深澤良彰)

日時 平成5年5月26日(水) 13:00~17:20

会場 工学院大学 28階 第4会議室(所在地は前記参照)

### 議題

(1) リアルタイム性を追及したオブジェクト思考設計法:OCA 龍 忠光, 泉 寛幸, 村川雅彦(富士通研)

[概要] オブジェクト間の因果関係とリアルタイム性の制約条件を考慮した分析・設計法と応用について.

(2) OSI ネットワーク管理システム開発へのオブジェクト指向設計法の適用 後藤真一郎, 森 隆彦(NTT)

[概要] 国際標準 OSI 管理規定の管理オブジェクト(MO)を考慮したネットワーク管理システムの設計方法.

(3) OMT 法による高度個別型 CAI の試作

富士 隆, 谷川 健, 星原健二郎, 伊藤佐智子, 小銭正尚(SRL), 三枝武男(北海道情報大)

[概要] 概念モデル構築から実装化までの試作を通して, OMT 法の効果と課題について報告する.

(4) C++ OMTTool の大規模ソフト開発への適用事例

井上 健, 土田 崇, 村田なつめ, 西岡健自(横河電機)

[概要] GE と協同開発したグラフィカルなクラス設計ツールに基づく PA 向きインタフェースビルダ開発事例.

(5) オブジェクトの独立性に関する考察 藤崎智宏, 荒野高志(NTT)

[概要] 設計の再利用性, 拡張性を高めるためにオブジェクト間の独立性を測るメトリクスを提案する.

(6) 信頼度生長モデルをもちいたオブジェクト指向技術の評価

山口隆弘(アドバンテスト仙台研), Givargis A. Danialy(ADVANSOFT Research Co.)

[概要] 手続き型とオブジェクト指向型ソフトウェアの信頼度を定式化し, グラフの概念との対応を示す.

## ◆ 第93回 データベースシステム研究会

◆ 第59回 ＊システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 } 合同  
(オペレーティング・システム)

(発表件数: 11件)

DBS (主査: 増永良文, 幹事: 井上 潮, 鶴岡邦敏, 吉川正俊)

OS (主査: 鈴木則久, 幹事: 清木 康, 萩野達也, 福田 晃)

＊名称変更のお知らせ: 本年度より, 旧オペレーティング・システム研究会をシステムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会と名称変更いたしました。オペレーティングシステム, およびそれに関連するシステムソフトウェアを対象とした広い範囲のテーマを扱い, 本研究会活動をより有意義なものとするを旨とします。

日 時 平成5年5月27日(木) 10:30~17:00

28日(金) 9:30~15:00

会 場 電子技術総合研究所研究本館 D棟 8階 大会議室

(つくば市梅園 1-1-4, JR(常磐線):荒川沖(東口)下車, 関東鉄道バス(筑波大学中央行):並木2丁目下車, 徒歩5分, または東京駅八重洲(南口)より常磐高速バス(つくばセンター行):並木大橋下車, 徒歩10分。

Tel. 0298 (58) 5885 (大時)

## 議 題 特集: オペレーティング・システムとデータベースシステムの接点

ネットワークシステム, 分散処理システム, 並列マシン, マルチメディアシステムなどの新しい計算機システムの普及が, オペレーティングシステムおよびデータベースシステムの構成方式に多大な影響を与えている。そのような新しい計算機システムの環境においても, オペレーティングシステムとデータベースシステムは, システム内の最も主要な構成要素であり, 両者の高機能化および高性能化への要求は高い。本研究会では, データベースシステムとオペレーティングシステムの接点に関する研究についての特集を行う。また, パネル討論会では, プログラミング言語を含めて, 今後の動向を探る。

5月27日(木)

—10:30~11:50—

(1) 並列非正規関係データベース管理システム: Kappa-P

河村元夫 (ICOT)

〔概要〕 非正規関係モデルで並列推論マシン PIM の構成に合わせ密結合並列処理と疎結合並列処理を考慮する。

(2) 分散型ストレージサーバ WAKASHI の実装および評価

小柳雅彦, 白 光一, 天野浩文, 牧之内顕文 (九大)

〔概要〕 分散システム上におけるデータベースストレージシステム WAKASHI の実装および評価。

—13:00~15:00—

(3) プロセス代数によるアクティブデータベースの支援について 小島 功, 磯部祥尚, 大時和仁 (電総研)

〔概要〕 プロセス代数の持つ性質を使ってアクティブ DB の記述と実行方式を検証する方法。

(4) Realization of data-knowledge coordination model by an object-oriented based method

彭 智勇, 上林彌彦 (京大)

〔概要〕 データと知識を動的に結合できるデータ知識協調モデルを, smalltalk システムで実現する方法。

—15:15~17:00—

(5) パネル討論: オペレーティングシステム, データベースシステム, プログラミング言語の役割と接点

司会: 清木 康 (筑波大)

パネリスト: 大時和仁 (電総研), 上林彌彦 (京大), 鈴木則久 (日本 IBM), 牧之内顕文 (九大)

5月28日(金)

—9:30~11:45—

(6) マイクロカーネルアーキテクチャに基づいたユーザレベルの割り込み制御と性能評価

本田良司 (日本 IBM)

〔概要〕 Mach 3.0 上の DOS/V サーバを対象に, 処理向上を行った評価, 改善点について。

(7) Object Sharing Server におけるイベント伝達機構の検討

黒沢貴弘, 深澤寿彦, 吉本雅彦, 柴山茂樹 (キャノン)

〔概要〕 オブジェクトの共有機構を提供するサーバにおいて必要となる機構について。

(8) オブジェクト指向設計法における分岐制約処理の検討

龍 忠光, 足立武史, 泉 寛行, 豊田雅信 (富士通研)

〔概要〕 オブジェクト間の関係の一貫性の制御として, 因果関係やリンク関係に基づく分岐制約処理法の検討。

—13:00~15:00—

(9) マルチメディア・データベースを対象としたシステム・アーキテクチャの検討

清木 康, 端山貴也 (筑波大)

〔概要〕 マルチメディア・データ群を対象とした検索, 編集, 統合機能をもつシステムのアーキテクチャについて。

(10) マルチメディア文書の標準データベース格納構造の考察

増永良文 (情報大)

〔概要〕 マルチメディア文書の標準データベース格納論理構造を文書交換形式 ODA を参考にして議論する。

(11) 関係データベースを利用したオブジェクトサーバのデータ管理

森本康彦, 福田剛志, 何 千山, 梶谷浩一, 小坂一也 (日本 IBM)

〔概要〕 関係データベースを利用したオブジェクトサーバと, その持続オブジェクト, 表などのデータ管理法,

*懇親会: 27日 (木) の夕方より予定しています。

◆ 第12回 プログラミング言語・基礎・実践—研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 萩谷昌己, 幹事: 大堀 淳, 柴山悦哉, 松岡 聡)

日 時 平成5年5月28日 (金) 10:00~17:00

会 場 工学院大学 28階 第4会議室 (所在地は前記参照)

議 題 小特集: 意味論の理論と実践

—10:00~12:10—

(1) 簡約意味論の理論と実践

本田耕平, 吉田展子 (慶大)

〔概要〕 簡約意味論の応用として様々な形式系・言語にどのような統一的な意味論を与えられるかを実例で示す。

(2) 環境をファースト・クラス・オブジェクトとして扱えるλ計算

西崎真也 (東大/京大)

〔概要〕 λ計算に環境をファースト・クラス・オブジェクトとして扱えるよう拡張し, 構文的・意味論の考察を行う。

(3) 不等式をもつデータ型とその性質

金藤栄孝 (日立)

〔概要〕 レコード型に対して不等式を追加した型体系を提案し, それが per モデルにより解釈可能なことを示す。

(4) 型変換の fibration による意味づけ

立木秀樹 (慶大)

〔概要〕 マージオペレータを持つ形式計算を考え, その意味領域を fibration により構成する。

—13:30~17:00—

(5) 応答型並行プログラムの部分評価の応用

村上昌己 (岡山大)

〔概要〕 複数のプロセスからなるプログラムの一部の実現から, 部分評価の手法を用いて全体を実現する方法。

(6) 並列動作記述に対する文法プログラミングからのアプローチについて

松田裕幸 (東工大)

〔概要〕 並列動作記述に対する属性文法に基づいたプログラミングシステムの表現力について議論する。

(7) Moded Flat GHC のモード体系

上田和紀 (早大)

〔概要〕 Moded Flat GHC のモード体系の枠組, 基本定理, および実践面での役割について述べる。

(8) 型付確定節プログラムの上昇証明木解釈

山本章博 (北大)

〔概要〕 表記プログラムに対して, 関係データベース理論における E-R モデルのような階層的なモデルを与える。

(9) グラフマイナー定理に基づく多項式時間アルゴリズムの自動合成

小川瑞史 (NTT)

〔概要〕 Higman の補題の構成的証明に基づき時刻を含むデータベース質問処理アルゴリズム合成を論じる。

(10) 計算の正当性を保証する理論的枠組について

赤間 清 (北大)

〔概要〕 宣言的プログラムの理論を計算の正当性を保証する一般的枠組としてとらえる。

◆ 第27回 コンピュータと教育研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 一松 信, 幹事: 三好和憲, 矢野米雄, 吉田瑞穂)

日 時 平成5年5月28日 (金) 13:00~16:00

会 場 工学院大学 28階 第3会議室 (所在地は前記参照)

議 題

(1) 情報化の新時代を支える人材像とその育成

岡野壽夫 (筑波技術短大)

〔概要〕 最近数年間の情報処理技術の進歩による情報化の環境変化に対応する新人材像とその育成を論ずる。

(2) 工学部における基礎情報教育の一例

飛松敬二郎, 加藤 潔, 荒 実 (工学院大)

〔概要〕 情報を専門としない工学部学生に対する基礎情報教育のあり方について論じあわせて事例報告する。

(3) 統合数式エディタの開発と数学教育への応用

内山靖文, 三好和憲 (工学院大)

〔概要〕 パソコン上で数式の編集・評価・可視化を行うシステムとその数学教育への応用について述べる。

(4) 見学 (16:00~): 情報科学研究教育センター

## ◆ 第 33 回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 16件)

(主査: 五十嵐善英, 幹事: 浅野哲夫, 白石洋一, 平田富夫)

日 時 平成 5 年 5 月 28 日 (金) 9:30~17:10

29 日 (土) 9:00~12:40

会 場 名古屋大学 豊田講堂 第 1 会議室 (所在地は前記参照)

議 題

5 月 28 日 (金) —9:30~12:00—

## (1) An Efficient Implementation for a Minimum Capacity Cut Algorithm

H. Nagamochi, T. Ono, T. Ibaraki (Kyoto Univ.)

〔概要〕 最小容量カットを求める  $O(mn + n^2 \log n)$  アルゴリズムの効率の良いプログラムによる実現を示す。

## (2) Nearly Uniform Scheduling of File Transfers

中野真一, 西関隆夫 (東北大)

〔概要〕 ファイル転送の負荷を均等に分散させる問題を解く効率のよいアルゴリズムを与える。

## (3) An Approximation Algorithm for the Legal Firing Sequence Problem of Petri Nets

山内雅弘, 中村伸治, 渡辺敏正 (広島大)

〔概要〕 ペトリネットの発火系列問題に対する性能のよい近似アルゴリズムを提案する。

(4) A Parallel Algorithm for Edge-Coloring Partial  $k$ -Trees 周 暁, 中野真一, 西関隆夫 (東北大)〔概要〕 与えられた部分  $k$  木の辺彩色指数を求め, その指数に等しい色数で辺彩色する NC アルゴリズムを与える。

—13:30~17:10—

## (5) Simplicity Preserving Augmentation to 4-Edge-Connect a Graph

高藤大介, 田岡智志, 渡辺敏正 (広島大)

〔概要〕 多重辺付加を禁止した最小辺集合の付加により 4 辺連結グラフを構成する多項式時間算法を提案する。

## (6) バタフライネットワークによる確率的な選択ネットワーク

池田崇博 (東大)

〔概要〕 バタフライネットワークを用い, 確率アルゴリズムのアプローチにより, 選択ネットワークを構築する。

## (7) 分散共有メモリに対するオンラインアルゴリズム

古賀久志 (東大)

〔概要〕 分散共有メモリに対するオンラインアルゴリズムをコンペティティブ比の面から考察する。

## (8) 集合族における極小集合判定アルゴリズムとその応用

土井 洋, 岡本栄司 (北陸先端大)

〔概要〕 集合族における極小集合判定アルゴリズムとモノトーン性判定への応用。

## (9) 複数の点集合の最大共通部分集合の近似可能性について

阿久津達也 (機械研)

〔概要〕 (平行・回転移動を許した) 標記の問題が, 最大クリーク近似問題と同程度以上に困難であることを示す。

## (10) 平面上の非交差線分列挙問題について

古堅真彦, 浅野孝平 (関西学院大)

〔概要〕 点集合  $s$  を入力とし,  $s$  を端点とする線分の集合について表題の問題のアルゴリズムを提案する。

5 月 29 日 (土)

## (11) Partial Construction of an Arrangement of Lines and Its Application to Optimal Partitioning of Bichromatic Point Set

浅野哲夫 (大阪電通大), 徳山 豪 (日本 IBM)

〔概要〕 直線のアレンジメントを部分的に構成する方法とその応用として点集合の 2 分割問題を考察する。

(12) Efficient Algorithms for Variance-Based  $k$ -Clustering

長谷川進, 今井 浩, 稲葉真理 (東大), 加藤直樹 (神戸商大), 中野 淳 (日本 IBM)

〔概要〕  $d$  次元空間内の  $n$  点を分散最小化という観点で  $k$  個のクラスターに分けるアルゴリズムを示す。

## (13) サーキットボード穴あけ問題に対する数値実験

味園真司, 岩野和生 (日本 IBM)

〔概要〕 穴あけの経路設計を TSP と考え, 従来の近似手法に加え, 新たな近似手法の実験的評価を行う。

## (14) 単項演算に対する局所計算可能な符号化に関する考察

永浦 渉, 安浦寛人 (九大)

〔概要〕 複数の演算が定義された有限集合に対する並列計算に向けた符号化と符号長に関する性質を報告する。

## (15) Graphical Degree Sequence Problem

高橋昌也 (愛知技術短大), 今井桂子, 浅野孝夫 (中央大)

〔概要〕 グラフ次数系列問題およびその変形問題について, 効率的アルゴリズムを提案する。

(16) 3 個の空位を持つ  $N \times M$ -平面自動倉庫の最小歩数関数 吳 敬軍, 川口喜三男, 和田幸一 (名工大)

〔概要〕 スペースが 3 個の平面自動倉庫で, 任意の位置の荷台を出口に移動するための最小時間を決定する。

*懇親会: 下記 2 研究会と合同で 27 日 (木) 夕方に予定しています。

*27 日には電子情報通信学会(コンピュテーション研究会, ソフトウェアサイエンス研究会)が同会場にて開催される予定です。併せてご参加ください。

- ◆ 人工知能研究会
- ◆ 計算機アーキテクチャ研究会
- ◆ システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会
- ◆ ハイパフォーマンスコンピューティング研究会
- ◆ プログラミング—言語・基礎・実践—研究会
- ◆ アルゴリズム研究会

1993 年 並列/分散/協調処理に関する『鞆の浦』 サマー・ワークショップ (SWoPP 鞆の浦 '93)

発 表 論 文 募 集

上記 6 研究会は、「1993 年並列/分散/協調処理に関する『鞆の浦』サマー・ワークショップ (SWoPP 鞆の浦 '93)」と題し、並列/分散/協調処理を横断的なキーワードとして、研究会を同時・連続開催いたします。各研究会の日程、特集、担当幹事、発表申込先は下記のとおりです。発表をご希望の方は、下記の方法にてお申込みください。多数の方々のご参加をお待ちしています。

- 日 時 平成 5 年 8 月 18 日 (水) システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 (OS)  
人工知能研究会 (AI) (18 日・19 日の 2 日間)  
8 月 19 日 (木) アルゴリズム研究会 (AL)  
プログラミング—言語・基礎・実践—研究会 (PRG) (19 日・20 日の 2 日間)  
計算機アーキテクチャ研究会 (ARC) (19 日・20 日の 2 日間)  
8 月 20 日 (金) ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (HPC)

会 場 鞆シーサイドホテル (広島県福山市・鞆の浦 Tel. 0849 (83) 5111)

各研究会特集、担当幹事および発表申込先

- **AI** : 並列/分散/協調における AI 的なもの  
担当・発表申込先: 橋田浩一 (電総研) Tel. 0298 (58) 5928 FAX 0298 (58) 5930  
e-mail: swopp93-ai@etl.go.jp  
※一般発表の他に、ポジションペーパー (2 ページ, 15 分程度) も受け付けています。発表申込みの際、一般発表かポジションペーパーかを明記してください。
- **ARC** : 並列/分散/協調アーキテクチャ —ブレイクスルーを求めて—  
担当・発表申込先: 村上和彰 (九大) Tel. 092 (583) 1340 FAX 092 (583) 1338  
e-mail: swopp93-arc@etl.go.jp
- **OS** : 並列/分散/協調オペレーティング・システム  
担当・発表申込先: 福田 晃 (九大) Tel. 092 (641) 1101 内 5404 FAX 092 (632) 5204  
e-mail: swopp93-os@etl.go.jp
- **HPC** : ハイパフォーマンス—並列/分散/協調—コンピューティング  
担当・発表申込先: 関口智嗣 (電総研) Tel. 0298 (58) 5877 FAX 0298 (58) 5882  
e-mail: swopp93-hpc@etl.go.jp
- **PRG** : 並列/分散/協調プログラミングの実践と基礎  
担当・発表申込先: 松岡 聡 (東大) Tel. 03 (3812) 2111 内 4108 FAX 03 (5689) 4365  
e-mail: swopp93-prg@etl.go.jp
- **AL** : 並列・分散アルゴリズム  
担当・発表申込先: 梅尾博司 (大阪電通大) Tel. 0720 (24) 1131 内 2468 FAX 0720 (24) 4576  
e-mail: swopp93-al@etl.go.jp

**発表申込方法** 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名、略称所属、概要 (46 字以内)、発表申込者連絡先 (住所、氏名、Tel., FAX, e-mail) をご記入のうえ、上記の発表希望研究会担当幹事宛、電子メールまたは FAX で直接お申込みください。なお、できるだけ電子メールでお願いいたします。

5 月 10 日 (月) より受付を開始いたします。会場の都合で AI 22 件, ARC 19 件, OS 15 件, HPC 11 件, PRG 19 件, AL 8 件までの発表件数とさせていただきます。申込は原則として先着順で、枠が一杯になった時点で締切らせていただきますので予めご承知おきください。詳しくは下記のメイリングリストにても案内いたします。

**ワークショップ全体に関する問合せ先（参加方法等）**

関口智嗣（電総研） Tel. 0298 (58) 5877 FAX 0298 (58) 5882  
e-mail: swopp93-secretary@etl.go.jp

＊適宜案内を行う下記のメイリングリストへなるべくご登録ください。

(swopp-request@etl.go.jp まで add sekiguchi@etl.go.jp のようにメールの本体に add に続けて案内を受けとるメールアドレスを記入して送付してください。または、help とだけ書いたメールを送ってください。)

＊swopp-request の利用方法，その他お問合せはできるだけ電子メールでお願いします。

＊電子情報通信学会協賛（予定）

＊SWoPP 斬の浦 '93 の一環として，電子情報通信学会（コンピュータシステム研究会（18，19日），フォールトトレランス研究会（19日））を同一会場にて本学会の協賛（予定）で開催いたします。なお，発表申込等詳細につきましては，電子情報通信学会誌4月号をご覧ください。

- ◆ システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 } 合同
- ◆ マルチメディア通信と分散処理研究会 }

**発 表 論 文 募 集**

下記のとおり合同研究会の発表を募集いたします。皆さまの多くのご応募をお待ちしております。

日 時 平成5年7月8日（木） 10:00～17:00

9日（金） 10:00～17:00

会 場 大阪大学 基礎工学部 情報工学科 新棟1階 AV 演習室

テ ー マ マルチメディアにおけるシステムソフトウェア (OS)

マルチメディアにおける通信とシステム (DPS)

＊テーマ以外の内容でも結構です。

発表申込締切日 平成5年4月26日（月）

**「自然言語資源の共有化」研究グループの新設について**

（主査：松本裕治，幹事：田中裕一，徳永健伸，佐野 洋）

自然言語処理研究は計算機の応用分野として長い歴史を持ち，さまざまなアルゴリズムや実用システムも開発されています。しかし，そこで使われている言語データや要素技術を共有のデータまたはツールとして誰でも利用できる状態にはなく，自然言語の研究を新たに始める研究者にとって大きな障壁になっています。

本研究グループは，特に日本語処理のための形態素解析や構文解析などの基本的なソフトウェア，言語コーパスや電子化辞書などの自然言語データ，すなわち，自然言語資源を共有化することを目的に平成4年11月に設立され，2年間活動していくことになりました。

年間数回の検討会の開催を計画しており，その成果を本誌の報告欄に掲載する予定です。また，成果として得られた自然言語資源は無償で配布することを予定しています。

**「マルチメディア情報システムの産業応用」研究グループの新設について**

（主査：沢 恒雄，幹事：池田 宏，政井 寛，南 俊守）

上記研究グループが平成4年11月より1年間活動することになりました。

当研究グループは適用業務への応用を主にした研究活動を行います。研究内容は，マルチメディア技術等の先進的科学的・技術が現実の産業の中で適用できる分野を探索し情報量の推定，情報システムへの入出力や処理などの経済性検討や，有効利用のための要件の確定などです。

例えば，流通・サービス産業を主に，経営情報，商品のライフサイクルに関する情報資源，超大量のトランザクションと背景の情報バンクへの適切なアクセスや可視化の方法，知的OAとしてのドキュメント工学などの分野へマルチメディア技術などの先進的技術の応用などです。

本研究の成果については，本誌の報告欄などでお伝えします。

**「ドメイン分析/モデリング」研究グループの新設について**

（主査：伊藤 潔，幹事：伊藤光恭，杵嶋修三，佐伯元司）

システム開発，インテグレーション，リエンジニアリング等の基幹技術として，ドメイン分析/モデリングの重要性が近年認識されております。複雑で大規模なシステム開発における生産性の向上と再利用の促進のために，対象自

身が本来もっている各種の性質や開発上の多様な知識を認識して組織化し、共通の対象領域のシステム開発に有効で固有な概念構造を得て、開発方法論、開発手法、ツール、再利用部品群等を構築しようとするものです。

本研究グループは、CASE 等のソフトウェア生産技術、CAE 等のシステム生産技術、ドメインシェル等の AI 技術、知識ベースやリポジトリ等のデータベース技術、DA 等のアーキテクチャ技術等の、広範囲の分野にまたがるシステム構成技術の研究・開発者が集まって、ドメイン分析/モデリングの概念を核にして 1993 年 4 月から 2 年間集中的に活動を行います。

多様な分野の開発事例を持ち寄って互いに討論を行うために、年 4 回程度の公開の研究会を行います。このご案内は、会告欄に掲載します。また、研究活動全体の成果は、報告欄に掲載します。

### ——「研究グループ」制度——

確立された分野を対象とした研究会とは別に、ある特定分野の研究開発を短期間集中的に行うとか、新しい研究分野となり得る苗床の研究など、より自由で機動性に富んだ研究活動を促進するために研究グループ制度があります。

この制度は、会員の方々の研究活動にお役立てていただけるものとして手軽に設立することができ、現在 6 つの研究グループが活動しております。

なお、設立等の詳細につきましては事務局研究会担当までお問合せください。

#### ◆ 研究グループ発表会開催予定 (1993 年 4 月～1994 年 3 月)

研究グループ名	開 催 日
テクニカルコミュニケーション	7/14 (水), 9/1 (水), 11/9 (火)
音声言語情報処理と音声入出力装置	7 月, 10 月, 2 月
ドメイン分析/モデリング	5/20 (木), 8 月, 11 月, 1 月

#### ◆ テクニカルコミュニケーション研究グループ

(主査：山田尚勇，幹事：牛島和夫，空閑茂起，福島敏高)

##### テクニカル・コミュニケーション・シンポジウム

##### —経験と心理学・工学の融和に向けて—

日 時 平成 5 年 5 月 21 日 (金) 9:30～17:00 (受付開始 9:00～)

会 場 工学院大学 3 階 312 教室 (所在地は前記参照)

プログラム —9:30～10:30—

- 開会の辞：山田尚勇 (学情センター)
- 基調講演：篠田義明 (早大)

—10:30～11:30—

- 一般講演 —各分野における取組み方—

(Ⅰ) 実務者側からの講演：鎌田博樹 (創研プランニング), 小林憲夫 (青松社)

—12:30～14:30—

(Ⅱ) 心理学側からの講演：岸 学 (学芸大)

(Ⅲ) 工学側からの講演：牛島和夫 (九大), 大野邦夫 (NTT)

—15:00～17:00—

- 講演者によるパネルディスカッション —学際的貢献に期待するもの—

司会：福島敏高 (富士通)

- 閉会の辞：牛島和夫 (九大)

会 費 一般：5,000 円 学生：1,000 円 (当日受付にてお申込みください。先着 300 名)

問合せ先 福島，杉田，上野 (富士通) Tel. 03 (3216) 9725 FAX 03 (3215) 5987



## ◆ 第1回 ドメイン分析/モデリング研究グループ研究会

(発表件数：2件)

(主査：伊藤 潔，幹事：伊藤光恭，杵嶋修三，佐伯元司)

日 時 平成5年5月20日(木) 13:30~16:30  
 会 場 機械振興会館 6階 65号室(所在地は前記参照)  
 議 題

(1) 研究グループの活動の進め方

伊藤 潔(上智大)

(2) 計測制御リアクティブシステム向きドメインモデル：Asdreas STD Triad 杵嶋修三(山武ハネウエル)

*資料等の準備の都合上、出席される方は、5月18日(火)までに下記のいずれかにご連絡ください。

伊藤 潔(上智大) Tel. 03 (3238) 3885

e-mail: itohkiyo@hoffman.cc.sophia.ac.jp

伊藤光恭(NTT) Tel. 03 (3740) 9170

e-mail: ito@nttslb.ntt.jp

## 「DA シンポジウム '93」論文募集

設計自動化(DA)技術は、近年のコンピュータ、VLSIの急速な進歩を支える重要技術のひとつであり、その進展もまた急であり、技術革新の動きは活発です。特に、最近では論理DA、レイアウトDA、テストDAといったそれぞれの分野の要素技術だけでなく、システムインテグレーション技術、システムのフレームワークにも多大な関心が集められています。また、CADシステムで用いられる設計記述言語、データフォーマットなどの標準化活動も国際的に活発になってきております。

本シンポジウムではこうしたDA技術の進展に役立つため最新の技術発表と国際的な技術動向情報の交換を目的として発表と討論の場を提供するものです。

日 程 平成5年8月26日(木)~28日(土)  
 場 所 西浦温泉 南風荘(愛知県蒲郡市西浦町)  
 主 催 情報処理学会 設計自動化研究会  
 参 加 費 研究会登録会員 32,000円、会員 37,000円、学生 20,000円、非会員 42,000円(予稿集費、宿泊費、懇親会費を含む)

## トピックス(予定)

- ・論理合成(組合せ回路合成/最適化、ハイレベル合成など)
- ・自動レイアウト(フロアプランニング、タイミングドリブンレイアウトなど)
- ・テスト設計自動化(テストパターン生成、テスト容易化設計など)
- ・機能/論理/回路設計支援(各種シミュレーション、設計言語標準化など)
- ・CADフレームワーク(CADツール統合化、設計工程管理など)
- ・設計システム(シリコンコンパイラ、特定用途向けCADなど)

## 実施方法

- (1) 論文集を発行するため、発表申し込み、論文の投稿をお願いします。
- (2) 応募は、アブストラクト(A4判用紙1枚程度、投稿論文の分野も記入)を平成5年4月30日までに提出してください。
- (3) 採否の決定は平成5年5月31日までに連絡します。
- (4) 本論文は研究会発表形式で4ページ(または6ページ)とし、平成5年7月20日までに提出してください。

## 連絡先・論文提出先

(社)情報処理学会 DAシンポジウム係  
 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27階  
 Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

## 「音楽情報科学研究会」発足のお知らせ

### 目 的

音楽は、永年、人間の多くの文化的活動の場において、種々の情報を伝達・表現するために使われてきた。計算機の誕生は、特に音楽の表現手段の可能性を広げることに貢献した。実際、計算機を利用して音楽を制作・創作する試みは古くからあり、自動作曲、楽音合成などに使用されている。同時に、音楽は人間の最も基本的かつ高度な精神活動の一つであり、知識処理の対象としても大変魅力的である。音楽情報の電子化、計算機を用いた音楽分析、記号処理としての音楽情報処理という分野も生じてきた。これら計算機と音楽をさまざまな角度で組み合わせた研究の流れは、計算機の技術革新に支えられて、最近とみに加速されてきている。このような背景から、現在の計算機と音楽に関連した研究領域は大きく二つに分けられよう。一つは計算機を利用した音楽の制作・創作、もう一つは音楽的に知的な振る舞いをする計算機システムに関する研究である。

計算機を音楽の制作・創作に用いる研究にとってもハードウェアの高速化、小型化、大容量化のもたらす恩恵は大きい。以前は、音楽制作・創作に使用するのに耐え得る性能を持つ計算機は非常に高価なものであった。しかしワークステーションの普及にともない、身近な計算機でも十分機能するようになり、多くの研究者、音楽家をこの分野に参入させることとなっている。また、知識処理技術の進歩、多くのプログラミングパラダイムの提案、効率の良い言語処理系の開発などにより、記号処理としての音楽情報処理が、計算機科学の中の1研究分野として今まさに誕生しつつある。そして計算機技術の有効性を実証するための応用分野として、音楽的に知的な振る舞いをするシステムはより多くの研究者、音楽家、企業の興味を引き付けるようになってきた。さらに新しい未知の研究領域が開拓される可能性もある。

このような下地が多くの研究者により培われてきているにもかかわらず、意見交換や議論の場は多いとは言えなかった。情報処理関係者の間だけでなく、音楽関係者とのつながりをもっと大切にしたいという声がある。このような理由から本研究会は、自由で活発な探求心をもった会員が、計算機と音楽双方の分野から既存の枠組の壁を越えて議論、検証する場を提供し、音楽情報科学という研究分野を確立し、さらに深く掘り下げる土台となることを目的として、平成5年度から発足する運びとなった。多数の会員の参加と積極的な研究活動を期待するものである。

### 主な研究分野

計算機技術と音楽双方に関連した領域からコンピュータ音楽の制作までの広い範囲を含む。具体的には、

1. 計算機の介在した作曲、編曲、演奏、伴奏、
2. 電子楽器とその周辺技術、
3. 音/音楽信号の処理、解析、合成、
4. AI と音楽、
5. 音楽の認知、知覚および感性情報の処理、
6. 音楽に関する教育システム、
7. 楽譜処理（印刷、読み取り等）、
8. 音楽システムのハードウェア技術、ソフトウェア技術、
9. 音楽理論の計算機システムへの応用、音楽学への計算機システムの応用、
10. 音楽芸術と計算機技術、
11. 他分野との関連領域（マルチメディア、仮想現実）

### 提 案 者（五十音順）

青柳龍也（電通大）	阿部純一（北大）	有山正孝（電通大）
安藤由典（九州芸術工科大）	五十嵐滋（筑波大）	井口征士（阪大）
今井正和（阪大）	大照 完（早大）	大矢健一（長野工業高専）
岡謙太郎（大日本印刷）	岡 雅章（河合楽器）	納本 淳（三菱化成）
小坂直敏（NTT）	柏野邦夫（東大）	片寄晴弘（イメージ情報科学研）
川野 洋（長野大）	金城 厚（沖縄県立芸術大）	久万田晋（沖縄県立芸術大）
神前尚生（尚美学園短大）	小谷善行（農工大）	才脇直樹（阪大）
坂崎 紀（聖徳学園短大）	嶋津武仁（福島大）	志村 哲（大阪芸術大）
鈴木 孝（東京工業高専）	高澤嘉光（電通大）	高田正之（江戸川大）
田口友康（甲南大）	田中英彦（東大）	田中穂積（東工大）
棚橋純一（富士通研）	田辺義和（ローランド）	坪井邦明（浜松職業訓練短大）
中澤達夫（長野工業高専）	中西正和（慶大）	中村 勲（帝京技科大）
中村滋延（京都芸術短大）	長嶋洋一（河合楽器）	西嶋正子（富士通研）
野瀬 隆（農工大）	橋本周司（早大）	半沢耕太郎（カシオ計算機）
平賀 譲（情報大）	平田圭二（ICOT）	藤森潤一（ヤマハ）
洲野 昌（ベルリン自由大）	堀内靖雄（東工大）	松島俊明（東邦大）
増井誠生（富士通研）	三好和憲（工学院大）	武者利光（東理大）
村尾忠廣（愛教大）	村上栄子（ローランド）	森 光彦（浜松職業訓練短大）

# 「オーディオビジュアル複合情報処理研究会」発足のお知らせ

## 目 的

本研究会は、人間に最も優しい情報処理・通信・インタフェースを求めて研究活動を進めるもので、画像信号処理、HDTV 信号・システムの活用、高品質音声処理・音場処理等をスタートとして、マルチメディアの有機的・総合的活用を実現するハイパメディア場への進展を積極的にサポートするものである。これらの研究現状はすでに実用化に近いものから、まだ萌芽状態にあるものなど幅広く、これらの分野にかかわりの深い研究会との協調を持ちながら、本研究会で適切な課題設定をもって研究紹介の効率化をはかり、実用から最先端までの研究者の積極的交流の場とすることにより、技術進歩の加速をはかることが大きな目的である。

特に、国際的な環境においては ATV・HDTV を中心に据えた B-ISDN に向けた信号処理・通信・サービスに関する国際標準化さらにはマルチメディア・ハイパメディアに関する国際標準化等の活動の裏付けとなるために、オリジナルなアイデアや研究成果をできるだけ促進する方向で報告・討論できる場として本研究会の存在が重要な意味を持っている。標準化にかかわる正式の活動は、情報処理学会情報規格調査会が国際事務局という大役を担って平成 3 年 11 月に発足した ISO/IEC JTC 1/SC 29 が行っている。SC 29 は JBIG (2 値画像符号化)、JPEG (静止画符号化)、MPEG (動画符号化)、および MHEG (マルチメディア & ハイパメディア符号化) を検討中であり、中には DIS 投票レベルに進んだものも出始めている。これら標準化への貢献はわが国としての責務であり、知的所有権を確保しながら標準化への貢献をはかるためには同様な研究分野を持つ研究会等の公式の発表の場が情報処理学会に必要である。

このような理由から、本研究会を平成 5 年度から発足させることになった。多数の会員の参加と積極的な研究活動を期待するものである。

## 主な研究分野

- 人間に最も優しい情報処理・通信・インタフェースを求めて、下記の分野で研究活動を行う。
1. 画像信号処理, HDTV 信号・システム
  2. 高品質音声処理・音場処理
  3. メディアを相互に関連付けるハイパメディア技術・システム
  4. B-ISDN, マルチメディア, ハイパメディアの国際標準化  
(具体的には, JBIG, JPEG, MPEG, MHEG, IVS, H.261, HYTIME, SGML 等の関連分野)

## 提 案 者 (五十音順)

相磯秀夫 (慶大)	青木由直 (北大)	大村皓一 (大阪学院大)
小野欽司 (KDD)	笠原正雄 (京都工繊大)	加藤康雄 (NEC)
釜江尚彦 (NTT)	坂井利之 (龍谷大)	酒井善則 (東工大)
白井克彦 (早大)	杉本昌穂 (パイオニア)	高梨裕文 (富士通)
辻井重男 (東工大)	寺田浩詔 (阪大)	富永英義 (早大)
鳥脇純一郎 (名大)	中島昌也 (松下技研)	西 和彦 (アスキー)
二宮佑一 (NHK)	原島 博 (東大)	藤本正照 (日本ビクター)
藤原 洋 (ジーシーテクノロジー)	宮岡千里 (ソニー)	宮原 誠 (北陸先端大学院大)
村上伸一 (電機大)	村上仁己 (KDD)	安田 浩 (NTT)
安田靖彦 (早大)		

## 「グループウェア研究会」発足のお知らせ

### 目 的

1980年代における高速ネットワークとパーソナルコンピューティングの進展によって、情報処理はいよいよ単体での処理から組織やタスクを志向したトータルな情報処理環境への進展を迎えようとしている。今後は技術の進歩とともに複数の利用者が相互に協力しながら作業を行うシステムへの基礎および実用両面からのアプローチが望まれる。グループウェアとは人間の協調行動、組織行動、チームワークを情報処理の観点から支援する技術分野であり、1980年代のおわりにかけて重要な新規テーマとして確立された。人間の作業は共有され、組織化されて初めて意味を持ち、社会に貢献しえる。しかし、このような総合的組織作業の支援は、単なるハードウェア、ソフトウェアのみならず、人間の社会行動全般にわたる深い理解なしでは到底なしとげることはいできない。

このような分野への研究は、確立されてからまだ日は浅いながら、組織科学、行動科学、通信処理、情報処理、分散協調、複数の利用者のユーザインタフェース、認知科学、人工知能など多岐にわたって精力的に研究がなされているところである。単に学術研究における議論の進展にのみならず、フレックスタイムや分散オフィス、在宅勤務など、社会における組織の流動化、社会的資源としての労働者の人的資源の有効利用、タイムシフト/スペースシフト/ストラクチャシフトなど物理的制約にしばられない形での柔軟な労働形態の進展、などさまざまな形でのより快適で効率的な共同作業ニーズの拡大により、本技術分野に対する社会的ニーズは1990年代にはますます拡大しているものと考えられる。本学会での研究会の取り組みが、協調行動と情報処理との相互関係を明かにし、より集団によっても使いやすい利便性の高いシステムの実現に向うことは、本当の意味での高度な情報処理研究の黎明として意義がある。

本研究会では、適切な課題設定をもって研究紹介の効率化をはかり、実用から最先端までの社会科学、情報工学、心理学など幅広い研究者の積極的交流の場とすることにより、技術進歩をはかるとともに人間の協調とはどのようなものなのかという永遠の真理に迫ることを目的とする。単に技術にとどまることなく、技術と集団が相互に関係しながら進化していく過程を文化的にもとらえ、21世紀の高度情報通信社会を人間にとって真に価値あるものにするための科学と技術成果の創造に向けて努力する予定である。さらにグループ協調支援においては、その文化的背景とシステム化が注目されている。国際的にも、注目される東洋のグループウェア、意思決定、組織運営に着目した研究成果のアピールも積極的に行うとともに、アジアの協調行動研究の中核としての礎となるような活動を意識していく。多数の会員の参加と積極的な研究活動を期待するものである。

### 主な研究分野

- 協調行動支援基礎（協調行動支援設計、情報共有環境、知的協調分散、言語行為理論、グループ生産性の評価、グループ行動支援ベース）
- 会議支援（グループ意思決定支援、コンピュータ会議、グループ発想支援、設計支援、マルチユーザインタフェース）
- オフィス支援（知的メッセージング、組織情報通信、分散オフィス、移動オフィス）
- 組織理論および社会心理学的グループ支援（社会行動理論、社会心理学、組織ネットワーク、アメニティ）
- グループアプリケーション（グループソフトウェア開発管理、グループ執筆支援、スケジュール管理、プロジェクト管理）

### 提 案 者（五十音順）

相磯秀夫（慶大）	荒木啓二郎（九大）	石井 裕（NTT）
石田晴久（東大）	石野福弥（NTT）	上野元治（東芝）
宇津宮孝一（大分大）	浦野義頼（KDD）	岡田謙一（慶大）
奥山一幸（東芝）	小野欽二（KDD）	釜江尚彦（NTT）
河田 享（シャープ）	上林弥彦（京大）	北 英彦（沖電気）
国藤 進（北陸先端大学院大）	神田陽治（富士通国際研）	斎藤忠夫（東大）
阪田史郎（NEC）	島村和典（NTT）	白鳥則郎（東北大）
滝沢 誠（電機大）	塚本享治（電総研）	鶴保証城（NTT）
戸田 厳（富士通）	戸田光彦（富士通）	長島重夫（日立）
西田正吾（三菱電機）	西村 孝（NTT）	野口正一（東北大）
疋田定幸（沖電気）	星 徹（日立）	本田克己（YHP）
松下 温（慶大）	水野忠則（静岡大）	宮崎収兄（沖電気）
宗森 純（鹿児島大）	守屋康正（富士ゼロックス）	山上俊彦（NTT）
渡部和雄（静岡県立大）		

## 「仕様記述の効率的適用と評価」研究グループ終了にあたって

(主査 大蒔和仁、幹事 伊藤 潔、本位田真一)

研究グループ設立の目的は、形式的仕様記述を、実際の問題に適用してみたことを前提にして（あるいは適用することを指向して）、各研究サイトでの事例を持ち寄り、主としてワークショップ形式で事例研究を行うことであった。そして、問題領域を特定して、その領域の現実の問題について仕様記述の効率を比べることが重要であると考え、通信ソフトウェア、計測制御ソフトウェア、並行システムや並列システムのソフトウェア、などのリアルタイム系あるいは分散系のソフトウェアを対象とした。そして、大学や研究所ばかりではなくこれらの領域に仕様記述を適用することができる企業の現場の組織にも参加して行ってきた。

1990年7月に発足以来2年間にわたり10回程度クローズドのワークショップ形式で集中討議を行ってきた。討論してきた仕様記述の分野は次のとおりである。

1. LOTOS を使った OSI (開放型システム間相互接続) アーキテクチャ
2. ビルのメンテナンスのための実時間制御
3. 移動電話の制御
4. 自動車のワイパー制御
5. キューネットを使った定性推論
6. 抽象データ型とペトリネットを使った形式記述システム
7. ウィンドウユーザインタフェース
8. MINIX の形式記述
9. 座席予約システム
10. 制御システムへの代数的仕様記述の応用

また、外国人講師を招いて

- Object-Oriented design (Dr. Richard Fairley)
- Introduction of CCS (Dr. Faron Moller)

などの講演会も行った。

当研究グループの目的の一つとして、仕様記述の方法論の評価がある。そして、方法論それぞれが得意とする分野に関して、その方法論の範囲でアプローチの評価を行ってきた。この点については過去2年間のワークショップにおいて比較的広い範囲の分野を対象として、具体的、大規模、かつ複雑な実際の仕様に対して適用した結果の討論を行ってきた。

本研究グループは、2年間の時限終了に当たり、成果の発表を行うと共に、本研究グループのメンバ以外にも発表・参加する「仕様記述の特集研究会」を、1992年12月14日(月)～16日(水)に、つくば市の電子技術総合研究所で行った。この研究会は、ソフトウェア工学研究会のご好意により、同研究会の通常の活動の一環として行われた。また計測自動制御学会(分散事象システム研究会)と電気学会(金属産業技術委員会、鉄鋼プロセス制御ソフトウェアのCAE調査専門委員会)の協賛も受けた。発表時間を長めにとり、関連研究の発表を数件まとめた後に、質疑も含めてその関連話題に密着した内容で、パネルの形式ではなく、1時間前後の討論を全員で行った。3日間で70名の参加、24件の発表で盛会のうちに無事終了した。通常とは趣向を変えた、セッション毎の発表者を前にしたディスカッションでは、濃淡はあったが、発表者の本音や核心に触れた議論もでき、有意義であった。

研究グループは解散したが 仕様記述特集 ということで、2年後あたりにもう一度同じような研究会を開催できたらと考えている。

## 平成5年度 研究会のお知らせ

平成5年度は、下記のとおり23研究会（※：新設3）で実施します。

研 究 会 名		・主査、幹事	取り扱う研究分野の例
1	自然言語処理	・野村 浩郷 永井 秀利 林 良彦 丸山 宏	・言語理論, 言語行動, 言語資料・統計, 辞書, 形態素解析, 統語解析 ・意味解析, 文脈解析, 対話, 談話理解, 音声言語, 知識表現 ・機械翻訳, 情報検索, 自然言語処理ソフトウェア
2	データベースシステム	・増永 良文 井上 潮 鶴岡 邦敏 吉川 正俊	データモデル, DB設計, DBPL, 情報資源管理, 質問処理, トランザクション管理, DBMSアーキテクチャ, 分散型DB, オブジェクト指向DB, 演繹DB, マルチメディアDB, オフィスDB, エンジンアソシエイトDB, ユーザインタフェース, DB高度応用
3	人 工 知 能	・石塚 満 沼尾 正行 橋田 浩一 吉田 裕之	知識表現, 推論・探索, 学習, 認知モデル, ニューラルネット, 知識ベース, エキスパートシステム, フォジ理論, パターン・自然言語の理解, 知的インタフェース, 分散・協調AI, AIアーキテクチャ, その他の知能メカニズム関連研究と応用システム
4	記 号 処 理	・小川 貴英 天海 良治 寺田 実 湯浦 克彦	記号（リスト, オブジェクト, プログラムなど）の処理のアーキテクチャ, 計算モデル, 言語, 処理系, ゴミ集め, プログラミング技法, ツール, 応用
5	ソフトウェア工学	・磯田 定宏 青山 幹雄 大蔭 和仁 深澤 良彰	要求分析, 設計方法論, 仕様記述, プログラミング方法論, 検査・検証, ツール, 開発環境, 再利用, プログラム合成, 開発管理, メトリックス, 人的要因
6	計算機アーキテクチャ	・富田 眞治 中島 浩 村上 和彰 矢野 陽一	・計算機システム・アーキテクチャ全般 ・ソフトウェア・システム（OS, コンパイラ, ツール）とのインタフェース ・並列処理アーキテクチャ ・VLSIアーキテクチャ
7	システムソフトウェアと オペレーティング・システム (オペレーティング・システム)	・鈴木 則久 清水 康 萩野 達也 福田 晃	分散・並列・超並列OS, 実時間OS, 計算機システムの性能評価, データベースOS, コンパイラ, ネットワークシステム
8	コンピュータビジョン	・杉原 厚吉 井宮 淳 谷口倫一郎 長谷川純一	視覚情報処理: 画像処理, 画像理解, 物体認識, 3次元形状復元, ステレオ視, モーション, ロボットビジョン, 視覚モデル, 画像データベース, 画像プロセッサなど
9	設 計 自 動 化	・上田 和宏 小川 泰 河村 匡彦 安浦 寛人	L S I, プリント基板等の設計自動化に関連した分野: ハードウェア記述言語, ハイレベル合成, 論理合成, デスト容易化設計, 検証診断, レイアウト等
10	マルチメディア通信と 分散処理	・白鳥 則郎 鈴木 健二 滝沢 誠 寺中 勝美	マルチメディアによる高度情報通信ネットワークと分散処理システム (高速通信, 分散コンピューティング, マルチメディア情報通信, 知的通信, プロトコル, 分散協調等)
11	ヒューマン インタフェース	・安西祐一郎 井関 治 小川 克彦 来住 伸子	計算機システムのヒューマンインタフェース, 認知情報処理のモデル, 協調作業のインタフェース, マルチメディアインタフェース, インタフェースとコミュニケーション, 人工現実感, 文書処理とオフィスオートメーション
12	グラフィクスとCAD	・西原 清一 大野 義夫 福井 一夫 間瀬 健二	CGのソフトウェア・アルゴリズム・ハードウェア, EWS, インタフェース, 形状モデリング, アニメとアート, 可視化, 仮想現実感, CAD/CAM, デザイン, 計算幾何学, 画像生成, 図面処理

研究会名	主査，幹事	取り扱う研究分野の例
13 ハイパフォーマンス コンピューティング (数 値 解 析)	・福井 義成 土谷 隆 長嶋 雲兵 吉原 郁夫	数値計算/シミュレーションの理論と実際(モデル化，アルゴリズム，品質保証)，高速 ・高性能計算用アーキテクチャ・システム(超並列WS)利用技術/性能評価と 提言，計算と計算機を結ぶ技術(可視化，言語，データ配置，最適化， デバッグツール等)
14 情報システム	・上野 滋 内木 哲也 中嶋 間多 初瀬川 茂	・情報システム(OIS, MIS, 情報サービスなど)の分析， 設計，構築，利用 ・情報ニーズ，情報・データの管理などの理論と実際 ・情報システムと人間，組織，社会
15 プログラミング ー言語・基礎・実践ー	・萩谷 昌己 大堀 淳 柴山 悦哉 松岡 聡	計算のモデルとプログラミングの基本概念，プログラミング言語と その設計，プログラミング言語の実現，プログラミング工程と支援 環境，プログラミングのための新しい概念・方法・パラダイム
16 情 報 学 基 礎	・細野 公男 石塚 英弘 中川 優 尹 博道	1. 情報の表現，識別，分類，評価，流通，管理の手法 2. 学習と発見による大量情報の知識化，遺伝子情報 3. 大量のマルチメディア情報，文字情報の処理
17 コンピュータと教育	・一松 信 三好 和憲 矢野 米雄 吉田 瑞穂	1. 学校および企業における情報分野の専門技術者・研究者の育成， ならびにリテラシーとしての一般的情報処理教育のためのカリキュラム， 具体的指導方法，実践例等 2. 知的CAIを含む教育における計算機応用
18 アルゴリズム	・五十嵐善英 浅野 哲夫 白石 洋一 平田 富夫	1. グラフ，ネットワーク，VLSIなどに関する離散アルゴリズム 2. 計算幾何学と計算代数学 3. 暗号，符号などの数論的アルゴリズム 4. 確率アルゴリズム，近似アルゴリズム 5. 並列，分散アルゴリズム，ハードウェアアルゴリズム 6. データ構造，7. 計算の複雑さの理論
19 人文科学と コンピュータ	・及川 昭文 竹内 健 長瀬 真理 八村広三郎	1. 人文科学，博物館・美術館への情報処理，コンピュータの応用要素と 実現技術 2. 人文科学系ユーザーにとって柔軟なユーザ・インタフェースの実現要素と 技術 3. 情報処理と人文科学系間での学際的協力 4. コンピュータ， 情報処理の社会的側面
20 情報メディア	・相磯 秀夫 石塚 英男 上林 憲行 田中 譲 中川 透	情報メディアの科学と工学： 1. 情報の生態系 2. メディアの電子化，映像化，メディア機械(仮想現実等) 3. メディアの創作，編集，表現，伝達，管理，理解のメタファと 環境
21 * 音楽情報科学	・平田 圭二 嶋津 武仁 志村 哲 鈴木 孝	計算機技術と音楽双方に関連した領域： 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏，電子楽器，音楽信号 処理，AIと音楽，音楽の認知・知覚・感性情報，音楽情報処理 システム，音楽学や音楽芸術と計算機技術
22 * オーディオビジュアル 複合情報処理	・富永 英義 二宮 佑一 村上 仁己 安田 浩	ハイパメディアと画像情報処理： 1. 画像信号処理，HDTV信号・低ビットレート画像信号・システム 2. 高品質 音声処理・音場処理 3. メディアを相互に関連付けるハイパメディア技術 ・システム 4. B-ISDN，マルチメディア，ハイパメディアの国際標準化
23 * グループウェア	・松下 温 岡田 謙一 守屋 康正 山上 俊彦	1. 協調基礎(組織，認知，社会心理，行動科学) 2. グループ応用(意思決定，共著/共同設計，発送，教育) 3. グループワークインフラ(仮想環境，グループ通信) 4. 分散オフィス 5. マルチUI 6. 事例研究

## * 新 設

- ・年間を通して参加される場合は登録をお願いします。登録費は研究会ごとに毎年度見直しの上、決定します。
- ・登録されていない会員は研究発表会当日資料代をいただきます。  
資料代は資料ページ数により 1000 円，1500 円，2000 円，2500 円となります。
- ・学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして、「研究会準登録者」制度を設けて  
おります。詳細等につきましては、事務局研究会担当者までお問合せください。

## ◆ 研究発表会開催予定 (1993 年 4 月～1994 年 3 月)

(平成 5 年 3 月 25 日現在)

(研究会名)	(開催日・会場他)
自然言語処理	◎5月20日(木)・21日(金) 福岡工大 7月9日(金) 宇都宮大 9月17日(金) リコー 11月19日(金) 電総研 1月20日(木)・21日(金) 阪大 3月18日(金) 北陸先端大
データベースシステム	5月27日(木)・28日(金) 電総研 ※DB・OS・プログラミング言語 (*OS 研合同) ◎7月21日(水)～23日(金) 長崎 ※データベースと異文化の接点と融合を求めて 9月9日(木) NTT(横須賀) 10月29日(金) 広島 3月中旬 工学院大
人工知能	6月23日(水) 工学院大 8月18日(水)・19日(木) 鞆の浦シーサイドホテル(広島) —SWoPP '93— 9月28日(火) 富士通研 11月24日(水) 工学院大 1月26日(水)・27日(木) 神戸大 3月上旬 工学院大
記号処理	6月18日(金) 工学院大 ※並列記号処理(小特集) 9月17日(金) 電総研 11月19日(金) 長野大 ※最適化コンパイラ技術(小特集) 1月14日(金) 工学院大 3月18日(金) NTT(武蔵野)
ソフトウェア工学	5月26日(水) 工学院大 ※オブジェクト指向 7月8日(木)・9日(金) 大雪青年の家(北海道) ◎9月下旬 東京近郊 ◎11月 東京近郊 1月20日(木)・21日(金) 鹿児島大 3月上旬 工学院大
計算機アーキテクチャ	6月11日(金) 日立(中研) ※アーキテクチャ教育(小特集) 8月19日(木)・20日(金) 鞆の浦シーサイドホテル(広島) —SWoPP '93— 10月下旬 地方 ※ハイパフォーマンスコンピューティングと アーキテクチャ (*HPC 研合同) ◎12月16日(木)・17日(金) 関西 ※アーキテクチャと CAD (*DA 研合同) 1月 山形 ※システムの定量的性能評価 (*OS 研合同) 3月 北海道
システムソフトウェアと オペレーティング・システム (オペレーティング・システム)	5月27日(木)・28日(金) 電総研 ※DB・OS・プログラミング言語 (*DBS 研合同) 7月8日(木)・9日(金) 阪大 ※マルチメディアにおける通信とシステム (*DPS 研合同) 8月18日(水) 鞆の浦シーサイドホテル(広島) —SWoPP '93— 1月 山形 ※システムの定量的性能評価 (*ARC 研合同) 3月22日(火) 工学院大
コンピュータビジョン	5月20日(木) 名大 7月22日(木) 岡山大 9月30日(木) 三洋電機 11月11日(木) 北陸先端大 1月20日(木)・21日(金) 阪大 3月中旬 機械振興会館
設計自動化	6月25日(金) 金沢大 ◎10月28日(木)・29日(金) 山口 ※デザインとテスト ◎12月16日(木)・17日(金) 関西 ※アーキテクチャ設計, 機能論理設計 (*ARC 研合同) 2月4日(金) 情報処理学会(新宿)



マルチメディア通信と分散処理	5月14日(金) NTT データ 7月8日(木) ・9日(金) 阪大 ※マルチメディアにおける通信とシステム (*OS 研合同) 9月20日(月) ・21日(火) 機械振興会館 1月28日(金) NTT (横須賀) (*GW 研合同) 3月4日(金) 工学院大
ヒューマンインタフェース	5月13日(木) ・14日(金) 慶大 7月8日(木) NTT (横須賀) ◎9月17日(金) 機械振興会館 ※福祉 (小特集) 11月11日(木) NEC (関西) 1月13日(木) 東芝 (川崎) 3月10日(木) ・11日(金) 九工大, または中京大 ※エコロジカル・インタフェース (*パネル討論)
グラフィクスとCAD	5月21日(金) 情報処理学会 (新宿) 7月16日(金) 筑波大 ※図面理解 8月19日(木) ・20日(金) 浜名荘 (浜松) ※CG と感性 —集中研究集会— 10月22日(金) 岩手大 ◎12月16日(木) ・17日(金) 九大 2月18日(金) 工学院大
ハイパフォーマンス コンピューティング (数値解析)	4月26日(月) KKR 東京竹橋会館 6月18日(金) 工学院大 8月20日(金) 鞆の浦シーサイドホテル (広島) —SWoPP '93— 10月下旬 地方 ※ハイパフォーマンスコンピューティングと アーキテクチャ (*ARC 研合同) 2月下旬 東京
情報システム	5月18日(火) 工学院大 7月20日(火) 工学院大 10月19日(火) 工学院大 1月18日(火) 工学院大 3月15日(火) 東京 ※若手の会
プログラミング —言語・基礎・実践—	5月28日(金) 工学院大 ※意味論の理論と実践 (小特集) 8月19日(木) ・20日(金) 鞆の浦シーサイドホテル (広島) —SWoPP '93— 10月29日(金) 工学院大 ※オブジェクト指向と型 (小特集) ◎3月10日(木) ・11日(金) 東京 ※並列・分散
情報学基礎	5月18日(火) 機械振興会館 ※図書館情報学 7月13日(火) 機械振興会館 9月14日(火) 地方 11月9日(火) 工学院大 ※情報基盤の整備と利用技術
コンピュータと教育	◎4月10日(土) 機械振興会館 ※知的 CAI/認知科学 5月28日(金) 工学院大 7月16日(金) 工学院大 9月24日(金) 筑波大 ※数式処理と教育 11月26日(金) 工学院大 ※遠隔教育とネットワーク技術 1月21日(金) 工学院大
アルゴリズム	5月28日(金) ・29日(土) 名大 8月19日(木) 鞆の浦シーサイドホテル (広島) —SWoPP '93— 9月30日(木) ・10月1日(金) 新潟大 11月25日(木) ・26日(金) 大阪電通大 1月25日(火) 日立 (中研) 3月18日(金) 工学院大
人文科学とコンピュータ	5月21日(金) 京都工繊大 9月3日(金) ミネソタ大秋田分校 ※日本語教育 (小特集) 11月26日(金) 岡山大 1月28日(金) 鹿児島
情報メディア	5月14日(金) 早大 ※不特定多数のユーザのための共有情報メディア (小特集) 7月9日(金) ソニー (東京) 11月12日(金) 九大 1月14日(金) 東京 3月11日(金) 東京

*音 楽 情 報 科 学	◎ 4月 23日 (金) ICOT 6月 大阪 10月上旬 早大 12月中旬 東京 2月 東京
*オーディオビジュアル 複合情報処理	6月 18日 (金) 機械振興会館 9月 17日 (金) 東京 12月 17日 (金) 機械振興会館 3月 18日 (金) 地方
*グ ル ー プ ウ ェ ア	4月 28日 (水) 機械振興会館 6月 25日 (金) 工学院大 8月 27日 (金) 工学院大 10月 29日 (金) 三重大 1月 28日 (金) NTT (横須賀) (*DPS 研合同)

注) * 新設, ※ 特集・テーマ, ◎ 他学会との共催

SWoPP '93: 1993年並列/分散/協調処理に関する『瀬の浦』サマーワークショップ

◎各研究会に発表申込希望者は開催日の**3カ月前**までに研究会発表申込書(本欄末添付)を事務局研究会係までご送付ください。

## ——研究会参加・発表申込方法・研究報告について——

### 研究会参加

研究会には自由に参加できます。開催に関する詳細は開催月前月の本欄に掲載いたします。  
(長期予告は2, 8月号に掲載いたします。)

### 研究発表会当日参加について

登録会員の当該登録研究会参加 無 料

登録会員以外で研究発表会に参加の場合には

- 会員 当日の資料代 (1,000円～2,500円 *ページ数により4段階)
- 学生会員 500円
- 非会員 1,000円+当日の資料代

*年間をとおして参加の場合には登録をお願いします。

### 発表申込方法

会員は任意の研究会に次の方法で研究会発表の申し込みをすることができます。希望者は所定の研究会発表申込書(学会誌2, 8月号本欄に掲載)により、発表希望日の3カ月前までに事務局研究会係にお申し込みください。なお、申込締切日は都合により若干繰り上がることがあります。

原稿執筆についての詳細は発表が決定(開催月の2カ月前の中旬)しましたらお知らせします。

### 研究会登録申込

研究報告(研究発表会資料)を年間をとおして入手希望の場合には登録をお願いします。登録者には、研究会開催のつど研究報告を後日郵送いたします。各研究会登録費につきましては、2, 4月号本欄掲載の研究会登録申込用紙(新規)をご参照願います。

学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして「研究会準登録者」制度を設けております。詳細につきましては、事務局研究会係までお問い合わせください。

### 研究報告残部購入申込

発表年月(資料番号)、研究会名、希望部数、申込者氏名、送付先、電話番号、郵便番号および支払方法を明記し書面にて事務局研究会係までお申し込みください。その際には、あらかじめ電話等で残部の確認をお願いします。(当年度、前年度残部のみ頒布可。送料(切手)、1冊につき250円。)

残部資料のないもののコピーサービスに関しましては日本科学技術情報センター(JICST)へお問い合わせください(有料)。なお、国立国会図書館においても閲覧、コピーすることができます。

* 国立国会図書館 100 東京都千代田区永田町 1-10-1 Tel. 03 (3581) 2331

* 日本科学技術情報センター(JICST) 100 東京都千代田区永田町 2-5-2 Tel. 03 (3581) 6411

### 研究報告の閲覧

閲覧希望者は、あらかじめ電話等でその旨を研究会係までお申し出のうえお越しください。

## 個人会員専用

年 月 日 ※

平成5年度研究会登録申込用紙  
新規専用

会員No. _____ 会員氏名 _____

登録希望の研究会の申込欄に○印をしてください。

(円)

申込み (略称/コード)	研究会名	登録費	申込み (略称/コード)	研究会名	登録費
NL-AA	自然言語処理	4,500	HPC-OO	ハイパフォーマンス コンピューティング (数 値 解 析)	4,000
DBS-BB	データベースシステム	5,000			
AI-CC	人工知能	4,000	IS-QQ	情報システム	4,500
SYM-DD	記号処理	3,500	PRG-RP	プログラミング －言語・基礎・実践－	4,500
SE-EE	ソフトウェア工学	4,500			
ARC-GG	計算機アーキテクチャ	4,500	FI-SS	情報学基礎	4,000
OS-HH	システムソフトウェアと オペレーティング・システム (オペレーティング・システム)	3,000	CE-TT	コンピュータと教育	4,000
			AL-UU	アルゴリズム	5,000
CV-JJ	コンピュータビジョン	4,000	CH-VV	人文科学とコンピュータ	4,000
DA-KK	設計自動化	5,500	IM-WW	情報メディア	3,500
DPS-LL	マルチメディア通信と 分散処理	4,500	MUS-XX	*音楽情報科学	3,000
			AVM-YY	*オーディオビジュアル 複合情報処理	3,000
HI-MM	ヒューマンインタフェース	4,000	GW-ZZ	*グループウェア	4,000
CG-NN	グラフィクスとCAD	4,500			

*新設

登録申込み _____ 性 合計金額 _____ 円 請求書 要 ( _____ 部) ・ 不要

## ※ 登録上の注意

- ・本申込書は新規の方のみご利用ください。(平成4年度に登録された方は使用できません。)
- ・登録者には、研究会開催のつど研究報告を後日郵送します。
- ・研究報告送付先は学会誌送付先と同様となります。(変更等は書面にて会員係までご連絡ください。)
- ・登録費の払込は登録手続完了後、別途発送いたします登録費専用振替用紙にてご送金願います。
- ・登録は、登録費の領収をもって正式の受付とします。

## ※ 連絡先

勤務先・所属名： _____  
Tel. _____ - _____ 内 ( _____ )160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エスティング情報ビル 27階 (社) 情報処理学会 研究会係  
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534



## 情報処理学会 第 47 回 全国大会実施要領

### 全国大会講演論文原稿について

——より早く、より良い論文集をつくるために——

第 47 回全国大会（平成 5 年後期）から A 4 判の講演論文原稿用紙に変更します。

現行の B 4 判原稿用紙は手書き時代のマス目のもので、ワープロが普及した現在では、かえって使い勝手の悪いものになっております。

収容文字数が多少少なくなる等の問題はありますが、会員の皆さまの便宜にかなひ、ご希望に添うものですので、何卒ご協力をよろしくお願いいたします。

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

講演申込書締切日の厳守を徹底しますので、申込書等の提出は必ず期日までにお出しください。 一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

**開催期日** 平成 5 年 10 月 6 日（水）～ 8 日（金）

**会 場** 鳥取大学工学部（鳥取市湖山町南）

**日程一覧** 1. 講演申込書の送付

学会誌本号（Vol. 34, No. 4）掲載の講演申込書に記入して、応募規程 IV. 1. の申込方法により **7 月 1 日（木）（必着）** までにお送りください。なお 7 月 1 日に持参する方は、エステック情報ビル 27 階 C 会議室（学会事務局隣）にて受け付けています。締切に遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。

2. プログラム編成委員会の開催

講演申込書を締め切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。

3. 登録原稿等の送付

7 月中旬に事務局から「登録原稿」等をお送りいたします。講演番号も同時に通知いたしますので、発表日時をご確認ください。

4. 講演論文等の提出

講演論文原稿および登録原稿等を一括して **8 月 18 日（水）（必着）** までにご提出ください。

5. 大会プログラムを学会誌 9 月号（Vol. 34, No. 9）に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

**応募規程** I. 講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

II. 応募資格

1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
3. 平成 5 年度会費未納の会員は発表できません。
4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし、奨励賞の表彰対象者にはなれません。

III. 講演論文該当分野

1. 情報科学一般

A. 一般

- a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他

B. 社会

- a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他

- C. 教育
  - a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学, f. その他
- 2. 基礎理論及び基礎技術
  - A. 情報数学
    - a. 形式論理, b. オートマトン理論, c. 形式言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f. アルゴリズム論, g. グラフ理論, h. 組合せ理論, i. ファジィ理論, j. 符号理論, k. 整数論, l. その他
  - B. 情報理論及び OR
    - a. 情報理論, b. 線形・非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. その他
  - C. データ解析
    - a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. その他
  - D. 数値計算
    - a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形計算, e. 非線形方程式, f. 数値微積分, g. 常微分方程式, h. 偏微分方程式, i. 積分方程式, j. 極値問題, k. 最適化, l. 特殊関数, m. 数式処理, n. 乱数, o. その他
  - E. シミュレーション
    - a. 有限要素法, b. 境界要素法, c. 差分法, d. モンテカルロ法, e. その他
- 3. 人工知能及び認知科学
  - A. 基礎理論
    - a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 非単調理論, g. 学習理論, h. コネクションニズム, i. その他
  - B. 人工知能システム
    - a. エキスパートシステム, b. ガイダンスシステム, c. エキスパートシステム作成支援ツール, d. ゲームプログラム, e. 演繹データベース, f. 知能ロボット, g. その他
  - C. 自然言語処理
    - a. 機械翻訳, b. 自然言語インタフェース, c. 対話システム, d. 形態素解析, e. 構文解析, f. 意味解析, g. 文生成, h. 談話理解, i. 文法, j. 辞書, k. その他
  - D. パターン認識
    - a. 音声認識, b. 話者識別, c. 画像理解, d. 物体認識, e. 文字認識, f. リモートセンシング, g. その他
  - E. 生体情報処理
    - a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. ニューラルネットワーク, e. その他
  - F. 感性情報処理
    - a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他
- 4. データ処理
  - A. 音声処理
    - a. 音声分析, b. 音声合成, c. その他
  - B. 画像・図形処理
    - a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理, g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他
  - C. テキスト処理
    - a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン, f. その他
  - D. マルチメディア処理
- 5. ソフトウェア
  - A. 基礎理論
    - a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論, e. 算法論理, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム, j. プログラム合成・変換, k. その他
  - B. プログラム言語及び仕様記述言語
    - a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語, f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語, j. その他
  - C. 言語処理系
    - a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. その他
  - D. ツール

- a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. ウィンドウシステム, f. その他
- E. オペレーティングシステム
  - a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク管理, g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他
- F. データベース・情報検索
  - a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理, f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース, k. その他
- G. プログラミング技術
  - a. データ構造, b. ガーベジコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング, f. その他
- 6. ソフトウェア工学
  - A. 開発技術
    - a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング, f. 部品化・再利用技術, g. プログラム自動構成, h. その他
  - B. テスト・保守
    - a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析, e. 保守運用管理, f. その他
  - C. ソフトウェアプロセス
    - a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他
  - D. 開発環境
    - a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. その他
  - E. ヒューマンファクタ
    - a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育・プロジェクト管理, c. プログラミング行動, d. その他
- 7. ハードウェア
  - A. 基礎理論
    - a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他
  - B. 論理回路
    - a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他
  - C. デバイス
    - a. 論理デバイス, b. 記憶デバイス, c. 入出力デバイス, d. ASIC PLD, e. その他
  - D. アーキテクチャ
    - a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. スーパーコンピュータ, d. ワークステーション, e. 高級言語マシン, f. 非ノイマンアーキテクチャ, g. 並列アーキテクチャ, h. マイクロプログラム, i. フォールトトレランス, j. その他
  - E. 周辺・端末
    - a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 図形入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他
  - F. 設計技術及び設計自動化
    - a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記述言語, g. シリコンコンパイラ, h. その他
  - G. 開発環境
    - a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他
  - H. テスト・検証
    - a. LSI テスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他
- 8. ネットワーク
  - A. 通信技術
    - a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラヒック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他
  - B. ネットワーク管理
    - a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他
  - C. コンピュータネットワーク
    - a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他

## 9. システム

### A. 対話型システム

- a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム, i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他

### B. オンラインシステム

- a. 予約システム, b. パンキングシステム, c. その他

### C. 制御システム

- a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他

### D. システム評価

- a. 評価技法, b. 評価指標, c. 評価モデル, d. その他

## 10. 信頼性と安全性

### A. 信頼性

- a. 信頼性理論, b. 保全性理論, c. 信頼性評価, d. 故障解析, e. その他

### B. 機密保護

- a. 暗号理論, b. 認証, c. 鍵管理, d. 鍵配送, e. セキュリティ, f. その他

## 11. 応用

### A. 企業等への応用

- a. オフィス, b. 行政, c. 経営, d. 金融, e. 情報サービス, f. 生産管理, g. 計算機センタ運営, h. 教育, i. その他

### B. 工学等への応用

- a. 航空・宇宙, b. 機械, c. 土木, d. 建築, e. 都市, f. 電気・電子, g. 計測, h. 生物, i. 物理, j. 化学, k. 原子力, l. 輸送・交通, m. 医学・歯学, n. その他

### C. 芸術等への応用

- a. 音楽, b. 絵画, c. 商業デザイン, d. その他

### D. その他への応用

- a. 自然科学, b. 社会科学, c. 人文科学, d. 障害者補助, e. その他

## IV. 申込方法

1. 本号会告ページ掲載の「全国大会講演申込書」に必要事項を記入して7月1日(木)(必着)までに申し込むこと。

2. 講演申込は講演申込書および講演参加費を添えて申し込むこと。

なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、まとめて送付すること。

## V. 申込件数

1. 登壇発表は原則として1人1件とします。
2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。また、別紙にて標題、発表分野を明記し、まとめて送付すること。

## VI. 講演参加費

1. 1件につき、会員は7,000円、学生は4,000円です。
2. 講演申込書を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。

## VII. 論文原稿提出

1. 論文原稿は、8月18日(水)(必着)までに提出してください。
2. 論文は日本語または英語とします。
3. 論文抄録を「学会発表データベース(第一系)、学術情報センター」に入力しますので、所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。
4. ワープロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。
5. 論文原稿提出後の訂正は一切取扱いません。よく推敲して提出してください。
6. 論文原稿の返却はいたしません。

## VIII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会(プログラム編成委員会)が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。



2. 内容が商業宣伝に偏したもの（極端な商品名の引用には注意する）.
3. 同一または類似の発表がなされており，かつ前進がないもの.
4. 応募規程に違反するもの.
5. 提出期限に遅れたもの（次回への応募をお薦めします）.

IX. 論文集の配布

発表者には講演論文を含んだ論文集 1 冊を事前に郵送します.

X. 発表論文の別刷はいたしません.

XI. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に，必ず自分の発表会場の講演者受付で，出席の確認を受ける.
2. 必ず前の講演者の講演時間中には，座長席の近くに設けられた講演者控え席で待機する.
3. 一般講演の時間は，質疑を含めて 15 分間とします（都合により 13 分間のセッションもあります）. 講演中でも時間切れで打ち切ります.
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します.
5. 講演の代理（読）は認めません.

XII. 申込先及び問合せ先

(社)情報処理学会 全国大会係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F Tel 03 (5322) 3535

情報処理学会第 47 回全国大会  
講 演 申 込 書

掲 載 ページ	
------------	--

受 付 番 号	
講 演 番 号	

第 47 回 全国大会に下記により講演申込をいたします。

標 題 注 1)						
フリガナ 注 1)						
著 者 名						
所 属 名						
フリガナ			← 注) 講演者を○印で表示してください。(氏名の左上) 講演者会員種別 (○印で囲む) <table><tr><td>正会員</td><td>学生会員</td></tr></table>		正会員	学生会員
正会員	学生会員					
著 者 名						
所 属 名						
論文該当分野 注 2)	(1)	(2)	(3)	*1 注 3)	*2 注 3)	

注 1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないでください。  
注 2) 論文募集要領の論文該当分野表を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。(例 “ソフトウェア工学分野, 開発環境” の場合, 6D と書く)  
注 3) 複数件講演申し込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の *1 または *2 に記入してください。

論 文 要 旨 (300 字程度)


第 47 回 全国大会講演発表用原稿用紙送付宛名 (講演者氏名をお書きください)

◎ 原稿用紙等の送料として郵便切手 250 円を添付のこと。

講演番号		(楷書でハッキリ記入してください)
原稿用紙送付先 〒		
機 関・部 課 名		
フリガナ		
講演者氏名	殿 (会員番号 )	
Tel.	(ex. )	FAX

第 47 回 全国大会講演参加費送金連絡票

この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入願います。

1. 1 件につき、会員は 7,000 円、学生は 4,000 円（講演者には参加章・プログラム・論文集 1 冊を事前発送します）。
2. 講演不採択の場合は、講演参加費を返却しますが、申込後取消しの場合は返却しません。
3. 講演参加費は、講演申込書に現金を添えて学会事務局に持参くださるか、あるいは郵便振替を原則とします。
4. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方は全てこの用紙に記入し、機関ごとにまとめてご提出ください。
5. 銀行振込は、所定の銀行口座〔三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774〕にご送金ください。  
なお、座長、プログラム編成委員および現地実行委員は無料です。  
但し、2 件以上の場合には 1 件増すごとに 4,000 円か 7,000 円をご送金ください。  
注）ご送金は登壇発表者名をお願いします。
6. 2 件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をもれなくご記入ください。（共著者の氏名は記入しないでください。）
7. 支払い件数が多く、下の票に講演者氏名が書ききれない場合は別にリストをつけてください。
8. 講演参加費は消費税対象外です。
9. 講演参加費は平成 5 年 7 月 1 日までにお支払い願います。

講演参加費	4,000 円	件	7,000 円	件
講演者氏名	○	○		
	○	○		
	○	○		
合計金額	円			
必要書類：請求書 通，納品書 通，見積書 通 ※必要のない方は空欄のままで結構です。				
送金方法： <input type="checkbox"/> 郵便振替（東京 5—83484） ※該当個所にレ印を付けてください <input type="checkbox"/> 銀行振込 銀行 （専用銀行口座：三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774） 送金月日： 月 日 送金人名義：				
通信欄：				
(楷書でハッキリ記入してください)				
講演参加費 取扱者 連絡先 〒				
機関・部課名				
フリガナ 氏 名 殿				
Tel. (ex. ) FAX				

会  
告

## 「学会誌特集セミナー：ファジィ理論と情報処理」開催について

「ファジィブームはもはや去った」との声が聞かれるこの頃ではあるが、その一方で、製品にはもはやファジィの冠頭詞こそつけないが、その応用はますます広がりつつあるとの意見も強い。ファジィ制御は自動制御の分野での基本的方法論としての地位を確立し、技術としての成熟期を迎えている。ファジィ理論の研究者は新しい応用対象として情報処理諸分野に従来より一層興味をもち、他方、この分野の研究者の側からも、ファジィ理論への期待はより高まってきている。

ファジィ理論が、多くの情報処理技術者に知られなければならないと考えられるのは、ファジィ集合論が数値処理と論理演算／推論の両方の特徴を備えた方法論としては最も整備された構成をもっているからである。同時に、ファジィ理論の情報処理への応用は、制御への応用とは根本的に異なる面をもっている。ファジィ制御の場合、従来の制御とファジィ制御とは全く異なる数学モデルにもとづいていたため、伝統的な制御とは方法論的な断絶があり、そのため、かえってファジィ制御の特徴と有用性が認識されるのが容易であった。これに対して、ファジィを用いた情報処理と用いない情報処理との差はより微妙で、その特徴を認識するには、理論の基本を十分把握している必要がある。

このセミナーでは、多くの応用事例においてこの理論を役立てていくために、ファジィ理論の基礎をさまざまな面からとりあげて平易に解説し、その理解を深めることを目的とする。講師には、情報処理学会誌の特集「ファジィ理論と情報処理」の執筆者を迎え、学会誌では述べられなかった点や、最近の動向を加えて具体的かつ分かりやすく説明していただく。ファジィ理論について興味あるいは疑問をもつ多くの技術者や研究者が本セミナーに参加されることをお勧めいたします。

**日 時** 平成 5 年 5 月 11 日 (火)  
**場 所** 工学院大学 3 階 312 教室 (新宿区西新宿)  
**参 加 費** 会員 15,000 円, 非会員 20,000 円, 学生 5,000 円  
 (資料として学会誌「情報処理」34 巻 1 号をご持参ください.)  
 学会誌をお持ちでない方には、1,600 円でお頒けします。  
**申込締切** 平成 5 年 4 月 19 日 (月)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

開会のあいさつ (10:00~10:10)	宮本 定明 (徳島大)
ファジィ理論の基礎概念と情報処理への応用 (10:10~11:10)	向殿 政男 (明 大)
ファジィ理論による自然言語の意味表現 (11:10~12:10)	馬野 元秀 (阪 大)
—— 昼食 (12:10~13:30) ——	
ファジィ理論による回帰モデル (13:30~14:30)	中森 義輝 (甲南大)
—— 休憩 (14:30~14:50) ——	
ファジィ理論とニューラルネットワーク (14:50~15:50)	林 勲 (松下電器)
ファジィ関係に関する諸問題 (15:50~16:50)	宮本 定明 (徳島大)

## 「学会誌特集セミナー：ファジィ理論と情報処理」

## 参加申込書

平成5年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 15,000 円, 非会員 20,000 円, 学生 5,000 円

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____ 円を

a) 当日, 会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 _____ 様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (FAX も可)

情報処理学会 セミナ係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

会  
告

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先 〒 _____機関・  
部課名 _____フリガナ  
氏 名 _____

殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

## 「連続セミナー 93」の開催について

### — 激変する社会環境に立ち向かう情報システム —

ダウンサイジングとオープン化の流れは、コンピュータシステムの構造のみならず、コンピュータ産業そのものの構造を変革しつつあります。激変する社会環境の中で、見逃せないのが人間や地球環境を見直す動きとコンピュータの大衆化です。

本セミナーは、これらの要素を配慮し、以下のとおり6回のテーマで実施します。多数の方々の参加をお願いいたします。

日 時	第1回	平成5年	5月13日(木)
	第2回	平成5年	7月15日(木)
	第3回	平成5年	9月16日(木)
	第4回	平成5年	11月18日(木)
	第5回	平成6年	1月20日(木)
	第6回	平成6年	3月17日(木)

場 所 工学院大学 312教室(東京都新宿区)

参 加 費 会員 80,000 円、非会員100,000 円、学 生 12,000 円

(広範囲な分野からの参加を目指し、パーソナル価格に改定いたしました。)

定 員 250名(学生は20名)になり次第締切ります。

申込締切 1993年4月26日(月) 厳守

資 料 講演の資料を当日配布いたします。

〔第1回〕1993年 5月13日(木)

#### CASEの問題点と今後の方向

— クライアントサーバとオープン化 —

- ・ CASEの概観
- ・ 開放型CASE環境
- ・ 分散型開発環境
- ・ パネルディスカッション

コーディネーター: 竹下 亨(中部大)

〔第2回〕1993年 7月15日(木)

#### 社会と文化とグループウェア

— マルチメディアと協働 —

- ・ 協調作業のための社会と文化からの考案
- ・ 智業=企業協働の時代
- ・ 協同作業とヒューマンコミュニケーション
- ・ パネルディスカッション

コーディネーター: 松下 温(慶大)

〔第3回〕1993年 9月16日(木)

#### コンピュータネットワークの今後

— ワイヤレス化と高速化と広域化 —

- ・ 無線LAN
- ・ 超高速通信技術(フレームリレーとATM)
- ・ インターネットワーキング
- ・ パネルディスカッション

コーディネーター: 石田 晴久(東大)

〔第4回〕1993年11月18日(木)

#### 情報家電の将来性

— パソコンと専用機の境界 —

- ・ マルチメディア
- ・ PDA(Personal Digital Assistants)
- ・ モービルコンピューティング
- ・ パネルディスカッション

コーディネーター: 石田 晴久(東大)

〔第5回〕1994年 1月20日(木)

#### ヒューマンティ時代への布石

— アクセシビリティとエコ・エンジニアリング —

- ・ 福祉とエレクトロニクス
- ・ 高齢化社会へのステップ
- ・ 地球環境と情報システム
- ・ パネルディスカッション

コーディネーター: 矢島 敬二(東理大)

〔第6回〕1994年 3月17日(木)

#### 情報セキュリティ

— ウィルスとセキュリティ —

- ・ 総 括
- ・ ウィルスとハッカー
- ・ コンピュータ・セキュリティ
- ・ パネルディスカッション

コーディネーター: 石田 晴久(東大)

講演者が決定次第ご案内いたします。

内容が多少変更される場合がございます。ご了承ください。

1993年 月 日

## 「連続セミナー93」参加申込／議事録バックナンバ申込書

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。(申込書は1人1枚としてください)

◎参加費(6回分) 該当するものを○で囲む  
 正会員、賛助会員 80,000円 非会員 100,000円 学生会員 12,000円  
 ☆参加費には資料代が含まれています。

## ◎議事録のみ(1回分)

91年度 会員 20,000円(1冊) 非会員 25,000円(1冊)

第1回 パーソナルコンピュータとワークステーションの90年代の課題 冊  
 第2回 パーソナルコンピュータとワークステーションのマルチ、ハイパーメディア化 冊  
 第3回 CISC対RISC CPUのこれから 冊  
 第4回 DOSとUNIXとソフトウェアツールのこれから 冊  
 第5回 インターパーソナル・コンピューティングのこれから 冊  
 第6回 2001年のパーソナルマシン 冊

92年度 会員 25,000円(1冊) 非会員 30,000円(1冊)

第1回 ダウンサイジングとオープン化の課題 冊  
 第2回 マルチメディアコンピューティングの課題 冊  
 第3回 パソコンの新入力方式のインパクト 冊  
 第4回 オブジェクト指向アプリケーションをとりまく環境 冊  
 第5回 分散コンピューティングの進展 冊  
 第6回 硬軟技術限界予測 冊

## ◎送金方法

☆合計 _____ 円を

a) 当日、会場受付にて支払います

b) 銀行振込(いずれも普通預金口座)で

第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金取扱銀行 _____ 銀行 _____ 支店

送金人名義 _____

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 _____ 通、見積書 _____ 通、納品書 _____ 通

請求先 _____

* 分割でのお支払いも可能です。

分割希望回数 _____ 回

送金予定 _____

申込先・送金先 情報処理学会連続セミナー係(FAXも可)  
 〒160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F  
 Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先

〒 _____

機関・  
部課名フリガ  
氏名

殿(会員番号 _____)

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

## 「1993 年並列処理シンポジウム JSPP '93」開催について

21 世紀に向けた超並列処理について、研究発表および議論することを目的とした並列処理シンポジウム JSPP も、今回 5 回目を迎えることとなります。本シンポジウムは、単に並列処理に留まらず、分散、協調などの新しいテーマまで含んだ学際的な研究交流の場の一つとして、確立されてきております。今回も、並列処理に関する最先端の研究発表 52 件に加え、招待講演 2 件とパネル討論を予定し、白熱した議論が行われることを期待しております。多数の方々のご参加をお待ちしております。

**日 時** 平成 5 (1993) 年 5 月 17 日 (月)～19 日 (水)

**会 場** 早稲田大学総合学術情報センター国際会議場 (東京都新宿区西早稲田 1-6-1)

**主 催** 情報処理学会・計算機アーキテクチャ研究会、同・データベース研究会  
同・オペレーティングシステム研究会、同・アルゴリズム研究会  
同・プログラミング—言語・基礎・実践—研究会、同・数値解析研究会  
電子情報通信学会・コンピュータシステム研究会

**協 賛** 日本ソフトウェア科学会、人工知能学会

**参 加 費**

	主催研究会会員	主催／協賛学会員	非 会 員	学 生
4 月 16 日まで	・ 18,000 円	・ 20,000 円	・ 25,000 円	・ 10,000 円
4 月 17 日以降	・ 23,000 円	・ 25,000 円	・ 30,000 円	

論文集のみ (送料込) : 5,000 円

* 研究会会員／学会員の方は、参加申込書の氏名欄の後に研究会／学会名をご記入ください。

* 参加費には論文集代と懇親会費が含まれています。また、上記の日付は入金日を基準とします。

**参加申込締切** 平成 5 年 4 月 23 日 (金)

**参加申込方法** 本会告末尾の参加申込書によってお申し込みください。

**参加申込先 (問合せ先)** (社)情報処理学会 シンポジウム (JSPP '93) 係  
160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F  
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534



## JSPP '93 セッション構成

		A 会 場	B 会 場	C 会 場
5/17 (月)	12:50~13:00	開会の辞・実行委員長挨拶		
	13:00~14:30	<b>招待講演 (1)</b> ●Compiling HPF for a Cluster of Workstations 中谷登志男 (日本IBM)		
	15:00~16:30	通 信	並列化コンパイラ (1)	探索問題/データベース
	16:30~17:00	コーヒーブレイク		
	17:00~18:00	超並列マシン	並列化コンパイラ (2)	
5/18 (火)	10:00~11:00	同 期	並列化コンパイラ (3)	FPGA 応用
	11:00~11:30	コーヒーブレイク		
	11:30~13:00	ネットワーク	並列プログラミング言語 (1)	アルゴリズム
	13:00~14:30	昼 食		
	14:30~16:00	<b>招待講演 (2)</b> ●並列アルゴリズムの研究—その動機・魅力・意義— 岩間 一雄 (九大)		
	16:00~16:30	コーヒーブレイク		
	16:30~18:00	共有メモリ	並列プログラミング言語 (2)	スケジューリング
	18:00~18:30	懇 親 会		
5/19 (水)	10:00~11:00	プロセッサ	配線問題	データフロー
	11:00~11:30	コーヒーブレイク		
	11:30~13:00	負荷分散	数値計算	プログラミング環境
	13:00~14:30	昼 食		
	14:30~17:00	<b>パネル・ディスカッション</b> ●超並列計算機プロジェクト—作る人と使う人の視点から— 坂井 修一 (RWC), 白川 友紀 (筑波大), 平木 敬 (東大), 福田 正大 (航空技研), 矢川 元基 (東大)		
	17:00~17:10	開会の辞・プログラム委員長挨拶		

## JSPP '93 プログラム

日 時 1993年5月17日(月)～19日(水)  
会 場 早稲田大学総合学術情報センター国際会議場

### —第1日 5月17日(月)—

- ◇開会の辞・実行委員長挨拶 (12:50～13:00, A会場) 村岡 洋一
- ◇招待講演(1) (13:00～14:30, A会場) 座長: 村岡 洋一 (早大)  
●Compiling HPF for a Cluster of Workstations 中谷登志男 (日本IBM)
- ◇通信 (15:00～16:30, A会場) 座長: 天野 英晴 (慶大)  
●超並列計算機に要求されるデータ転送能力とデータ並べ替え 佐藤隆士 (大阪教育大), 津田孝夫 (京大)  
●細粒度並列処理におけるレイテンシ隠蔽効果の評価 平木 敬 (電総研/東大), 島田俊夫 (名大), 関口智嗣 (電総研)
- メッセージ通信の分散メモリ型並列計算機性能への影響—通信と演算のオーバーラップと直接メッセージ受信の効果— 堀江健志, 小柳洋一, 今村信貴, 林 憲一, 清水俊幸, 石畑宏明 (富士通研)
- ◇並列化コンパイラ(1) (15:00～16:30, B会場) 座長: 笠原 博徳 (早大)  
●並列化支援環境 Presto における分散メモリ対応機能 蒲池恒彦, 妹尾義樹 (NEC), 松野繁男 (NECS)  
●数値シミュレーション向き高水準言語 DEQSOL の分散メモリ型並列計算機向けトランスレーションに関する一考察 大河内俊夫, 金野千里 (日立), 猪貝光祥 (日立超 LSI エンジニアリング)  
●分散メモリ型並列計算機の自動並列化コンパイラ Inspector/Executor アルゴリズムの高速化— 窪田昌史, 大野和彦, 三吉郁夫, 森眞一郎, 中島 浩, 富田眞治 (京大)
- ◇探索問題/データベース (15:00～16:30, C会場) 座長: 瀧 和男 (神戸大)  
●プライオリティ制御機構を有する OR 並列 Prolog の探索問題への応用 松田秀雄 (神戸大), 鈴鹿重雄 (野村総研), 金田悠紀夫 (神戸大)  
●New results in finite algebra by a parallel model generation theorem prover Masayuki Fujita, Fumihiko Kumeno (三菱総研)  
●Transitive Closure Evaluation of Database Relations on Massively Parallel Computer MasPar MP-1 Xiaofang Zhou, Maria E. Orlowska, Yanchun Zhang (Univ. of Queensland)
- ◇超並列マシン (17:00～18:30, A会場) 座長: 石井 光雄 (富士通研)  
●マルチパラダイム超並列 TFLOPS マシンにおける並列処理～プロセッサ間チェイニングとその応用— 田邊 昇 (東芝)  
●超並列計算機 RWC-1 の基本構想 坂井修一 (電総研), 岡本一見, 松岡浩司, 廣野英雄 (RWC), 児玉祐悦, 佐藤三久 (電総研), 横田隆史 (三菱)
- ◇並列化コンパイラ(2) (17:00～18:00, B会場) 座長: 石川 裕 (電総研)  
●OSCAR マルチグレインコンパイラにおける階層型マクロデータフロー処理手法 岡本雅巳, 合田憲人, 宮沢 稔 (早大), 本多弘樹 (山梨大), 笠原博徳 (早大)  
●実行開始条件による並列性検出手法—ループへの拡張 本多弘樹 (山梨大), 合田憲人, 岡本雅巳, 笠原博徳 (早大)

### —第2日 5月18日(火)—

- ◇同期 (10:00～11:00, A会場) 座長: 柴山 潔 (京都工繊大)  
●スタティックスケジューリングを用いたマルチプロセッサ上の無同期細粒度並列処理 尾形 航, 吉田明正, 合田憲人, 岡本雅巳, 笠原博徳 (早大)  
●バリア同期モデル—Taxonomy と新モデルの提案, および, モデル間性能比較— 山家 陽, 村上和彰 (九大)

## ◇並列化コンパイラ (3) (10:00~11:00, B会場)

座長: 山名 早人 (早大)

- データフロー解析に基づく関数型言語 Valid の並列化コンパイラ

高橋英一, 谷口倫一郎, 雨宮真人 (九大)

- 「幅優先法」による再帰的手続きの自動ベクトル化・並列化

上原哲太郎, 津田孝夫 (京大)

## ◇FPGA 応用 (10:00~11:00, C会場)

座長: 中田登志之 (NEC)

- 仮想ハードウェアに基づくデータ駆動型計算機 WASMII

凌 曉萍, 天野英晴 (慶大)

- 汎用エンジン RM-II の構成

富田昌宏, 菅沼直昭, 澄川文徳, 平野浩太郎 (神戸大)

## ◇ネットワーク (11:30~13:00, A会場)

座長: 杉江 衛 (日立)

- 超並列計算機のための相互結合網シミュレータ

柴村英智, 久我守弘, 末吉敏則 (九工大)

- 並列計算機 ADENARTx における転送方法とデッドロックフリールーティング方式

岡林一郎, 西川順二, 貴志哲司, 狩野信吾 (松下電器),

村杉幸夫 (松下電子), 桑田有理, 金子克幸 (松下電器)

- 分割再構成可能なトラスネットワーク

林 憲一 (富士通研), Isaac Chuang (Stanford University), 堀江健志 (富士通研)

## ◇並列プログラミング言語 (1) (11:30~13:00, B会場)

座長: 上田 和紀 (NEC)

- 並列計算機 EM-4 の並列プログラミング言語 EM-C

佐藤三久, 児玉祐悦, 坂井修一, 山口喜教 (電総研)

- LAN 上での Linda タプル管理方式について

松田哲史, 武並佳則 (住友電気工業)

- 並列論理型言語 GHC に対する OR-Compositional な意味論

加藤 暢, 村上昌己 (岡山大)

## ◇アルゴリズム (11:30~13:00, C会場)

座長: 安浦 寛人 (九大)

- 探索問題に対するメッシュバス上での並列アルゴリズム

堀川 豊, 岩間一雄 (九大)

- An Efficient Butterfly Communication Algorithm for Multi-port Boolean Cubes

Xiaojing Wang, Z. George Mou (Brandeis University)

- Relationships between Typical Networks

Masaru Takesue (NTT)

## ◇招待講演 (2) (14:30~16:00, A会場)

座長: 小柳 義夫 (東大)

- 並列アルゴリズムの研究—その動機・魅力・意義—

岩間 一雄 (九大)

## ◇共有メモリ (16:30~18:00, A会場)

座長: 小池 汎平 (東大)

- 超並列システム用 OS「超流動 OS」における大域的仮想仮想記憶

平野 聡, 田沼 均, 須崎有康 (電総研)

- Memory-Based Processor による分散共有メモリ

松本 尚, 平木 敬 (東大)

- メモリ・コンシステンシ・モデル—新しいモデルの提案, および, その能力比較—

徳永尚哉, 村上和彰 (九大)

## ◇並列プログラミング言語 (2) (16:30~18:00, B会場)

座長: 中島 浩 (京大)

- Unifying Control-and Data-Parallelism in an Object-Oriented Language

Chu-Cheow Lim, Jerome A. Feldman, Stephan Murer (Univ. California, Berkeley)

- Modula-3*: An Efficiently Compilable Extension of Modula-3 for Problem-Oriented Explicitly Parallel Programming

Ernst A. Heinz (Univ. Karlsruhe)

- Incorporating Locality Management and GC in Massively-Parallel Object-Oriented Languages

田浦健次郎, 松岡 聡, 米澤明憲 (東大)

## ◇スケジューリング (16:40~18:00, C会場)

座長: 市吉 伸行 (三菱総研)

- 双方向補完仮説と積木仮説に基づくマルチプロセッサ・スケジューリング

有田隆也, 高木浩光, 曾和将容 (名工大)

- Lower Bound on Time for Typed Task Systems with Communication Costs

李 鼎超, 有田隆也, 曾和将容 (名工大)

- On Scheduling Task Trees on Multiprocessors to Minimize Makespan

Sanjeev Baskiyar, Richard Y. Kain (Univ. of Minnesota, Minneapolis)

—第3日 5月19日(水)—

- ◇プロセッサ (10:00~11:00, A会場) 座長: 村上 和彰 (九大)
- 命令並列処理機構を意識したスケジューリングを支援するレジスタ構成とその効果  
藤井啓明, 稲上泰弘 (日立)
  - スーパースカラーマイクロプロセッサの高バンド幅データキャッシュメモリレイテンシと性能評価—  
中島雅逸, 中倉康浩, 吉田忠弘, 後井良之, 中居祐二, 瀬川礼二,  
岩田 武, 石田健一, 福岡俊彦, 中野 拓 (松下電器)
- ◇配線問題 (10:00~11:00, B会場) 座長: 渡辺 俊典 (NTT)
- タイムワープによる並列無格子配線システム 松本幸則 (ICOT), 瀧 和男 (神戸大)
  - プロセッサ競合方式による並列配線処理—引き剥し処理による品質改善— 佐野雅彦, 高橋義造 (徳島大)
- ◇データフロー (10:00~11:00, C会場) 座長: 平木 敬 (東大)
- データフロー計算機向けフローグラフの最適化—データフロー最適化コンパイラの一実現手法—  
許 昭倫, 岡崎信一郎, 溝口正典 (NEC)
  - Datarol マシンにおける並列展開戦略 星出高秀, 日下部茂, 谷口倫一郎, 雨宮真人 (九大)
- ◇負荷分散 (11:30~13:00, A会場) 座長: 後藤 厚宏 (NTT)
- 並列推論マシン PIM/p におけるクラスタ内自動負荷分散方式の評価  
畑澤宏善 (富士通 SSL), 新井 進 (富士通)
  - 疎結合型マルチプロセッサ上の拡散型動的負荷分散方式=LLS-G 方式=  
佐藤令子, 佐藤裕幸, 中島克人 (三菱)
  - マルチユーザ・オペレーティングシステムの基でのスヌープキャッシュの動作効率の評価  
山崎秘砂 (日本 IBM)
- ◇数値計算 (11:30~13:00, B会場) 座長: 白川 友紀 (筑波大)
- 並列マシン Cenju 2 上の有限要素法による非線形変形解析  
加納 健, 中田登志之 (NEC), 奥村秀人, 大竹邦彦 (航技研), 小池誠彦 (NEC)
  - マルチグリッド前処理付き共役勾配法の並列化 建部修見 (東大)
  - マルチプロセッサによる高速フーリエ変換の並列処理 金沢啓三, 仁木 登 (徳島大)
- ◇プログラミング環境 (11:30~13:00, C会場) 座長: 松岡 聡 (東大)
- Debut_L, programming filters and recognizers in a parallel debugger'  
Hans Scholten, John Posthuma, Jan G. Wijnstra (Univ. of Twente)
  - The M²-Cycle: A New Method for Analyzing the Behavior of Parallel Program  
Andreas Quick, M. Siegle (Univ. Erlangen-Nürnberg)
  - Interactive Compilation and Performance Analysis in a Percolation Scheduling Environment  
Alexandru Nicolau, Steven Novack (Univ. of California, Irvine)
- ◇パネル・ディスカッション (14:30~17:00, A会場) モデレータ: 島田 俊夫 (名大)
- 超並列計算機プロジェクト—作る人と使う人の視点から—  
坂井 修一 (RWC), 白川 友紀 (筑波大), 平木 敬 (東大),  
福田 正大 (航空技研), 矢川 元基 (東大)
- ◇閉会の辞・プログラム委員長挨拶 (17:00~17:10, A会場) 小柳 義夫

「1993 年並列処理シンポジウム JSPP '93」

参 加 申 込 書

平成 5 年      月      日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

	主催研究会会員	主催／協賛学会員	非 会 員	学 生
4 月 16 日まで	・ 18,000 円	・ 20,000 円	・ 25,000 円	・ 10,000 円
4 月 17 日以降	・ 23,000 円	・ 25,000 円	・ 30,000 円	

* 研究会会員／学会員の方は、下記氏名欄の後に研究会／学会名をご記入ください。  
* 参加費には論文集代と懇親会費が含まれています。また、上記の日付は入金日を基準とします。

○論文集のみ（5,000 円、送料込） _____ 冊

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

- 合計 _____ 円を
- a) 当日、会場受付にて支払います。
- b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。
- c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で
- 1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562
  - 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608
- 名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会
- ・送金人名義 _____ 様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。  
請求書 通, 見積書 通, 納品書 通  
請求先 _____  
注) 申込書は 1 枚 1 人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 シンポジウム（JSPP '93）係  
160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F  
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者  
連絡先 〒 _____

機関・  
部課名 _____

フリガナ _____ 研究会／学会名（ _____ ）  
氏 名 _____ 殿 会 員 番 号（ _____ ）

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

E-mail _____

会  
告

## チュートリアル「オブジェクト指向分析・設計」開催について

オブジェクト指向分析・設計は1990年代の方法論として、国内外で大変注目されていますが、実務への適用という観点では、課題が多く残されています。

そこで、本チュートリアルでは、オブジェクト指向とは何かという概論から、従来の方法論とは何が異なるのか、さらに、具体的にどのように有用なのかについて、ソフトウェア工学の立場から、理論から実践まで、幅広く議論します。

なお、本チュートリアルでは、講演途中での、司会者、フロアを交えての討議、会場での方法論の演習、本音の部分を引き出すことに留意したパネル討論などを企画しています。

日 時 平成5年5月27日(木) 9:30~16:30

28日(金) 9:30~16:30

会 場 工学院大学3階312教室(新宿区西新宿)

参 加 費 ソフトウェア工学研究会登録会員 20,000円、会 員 25,000円

(資料代を含む) 学生会員 5,000円、非会員 30,000円

資料のみ 5,000円(送料込み)

申込締切 平成5年5月10日(月)(定員200名になり次第締切らせていただきます)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム (予定) ~~~~~

#### 第1日 5月27日(木)

開会の挨拶(9:30~9:40)

原田 賢一(慶大)

##### 第1部

司会 大蒔和仁(電総研)

・オブジェクト指向分析・設計総論(9:40~10:30)

本位田真一(東芝)

概要:オブジェクト指向分析・設計に関するさまざまな話題を整理する。

・オブジェクト指向とは(10:30~11:45)

飯島 正(慶大)

概要:オブジェクト指向概念の本質を探る。

—— 昼 食 (11:45~13:00) ——

##### 第2部

司会 永田 守男(慶大)

・オブジェクト指向分析・設計とは(13:00~16:30)

中谷多哉子(富士ゼロックス情報システム)

概要:事例と演習を通して方法論を体得する。

#### 第2日 5月28日(金)

##### 第3部

司会 佐伯 元司(東工大)

・オブジェクト指向分析・設計と従来の方法論との比較(9:30~11:45)

加藤 潤三(EDS ジャパン)

概要:仕様化プロセス、モデリング、教育の観点から、リアルタイム SA、JSD と比較、評価する。

—— 昼 食 (11:45~13:00) ——

##### 第4部

司会 青山 幹雄(富士通)

・パネル討論:オブジェクト指向分析・設計の実際(13:00~16:30)

概要:実際のソフトウェア開発への適用体験に基づき、第3部までに登場した講演者も交えて討議する。適用に当たっての留意点、失敗体験、適用による教訓などを踏まえて、適用可能性、ソフトウェア生産性について議論する。

事例1:OMTによる画像ファイリング・システム

山城 明宏(東芝)

事例2:設計支援ツール開発へのオブジェクト指向開発

鈴木 啓之(日立)

事例3:デジタル移動通信システムへの適用

梶原 清彦(NTT)

「オブジェクト指向分析・設計チュートリアル」

参 加 申 込 書

平成5年 月 日

標記チュートリアルの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 25,000 円，登録会員 20,000 円，非会員 30,000 円，学生 5,000 円

＊参加費には，資料代が含まれています。

○論文集のみ（5,000 円，送料込）

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____ 円を

a) 当日，会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____ 様

＊ 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 チュートリアル係 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者  
連絡先 〒 _____

機関名 _____

フリガナ 会員番号  
氏 名 _____ 殿 ( _____ )

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

# 「利用者指向の情報システムシンポジウム」の開催について

## ——新しい情報化の潮流と組織のリストラクチャリング——

情報システムが個人から一般社会にいたるさまざまな組織に広く普及・浸透してきた今日、利用者を指向した情報システムをいかに実現するかが重要な課題となっています。この課題に取り組むには、組織と情報システム双方における情報の生産・流通・利用過程の絡みを幅広い視点から捉えて、情報システムの設計と構築を論じる必要があります。

とくに、最近ネットワーク化、オープン化、ダウンサイジング化などの新しい情報化の潮流に対して、組織のリストラクチャリングや人材の育成が急務となってきました。そこで、本シンポジウムでは、このような新しい情報化の潮流の動向ならびにそれに対処するための情報システムの研究動向、方法論、具体的事例等について、発表・討論を行う予定です。この問題に関心を持つ研究者、利用者、設計・開発者、運用者の方々のご参加をお願いします。

日 時 平成5年6月18日(金) 10:00~17:20

19日(土) 9:30~17:30

場 所 日本ユニシス豊洲本社 (135 江東区豊洲 1-1-1)

Tel. 03 (5546) 5900, 地下鉄有楽町線 豊洲駅下車 徒歩10分

協 賛 (社) 日本情報システム・ユーザ協会

参 加 費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円 (論文集のみ 5,000 円, 送料込)

懇 親 会 発表者やパネラとの個別討論や参加者どうしの親睦の場です。奮ってご参加ください。

会費 3,000 円 (参加費と一緒に申し込みください。)

申込締切 平成5年6月4日(金)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 第1日 6月18日(金)

開会の辞 (10:00~10:10)

情報システム研究会主査 上野 滋 (スタットラボ)

招待講演1 (10:10~11:00)

司会 上野 滋 (スタットラボ)

・社会をめざした情報システムの新しい展開

森谷 正規 (技術評論家)

招待講演2 (11:10~12:00)

司会 上野 滋 (スタットラボ)

・情報システム学の必要性和その標準カリキュラム

細野 公男 (慶大)

——昼 食 (60分)——

招待セッション (13:00~15:00)

組織のリストラクチャリング

司会 佐藤 敬 (東京工科大)

・情報システムユーザのリストラクチャリング

金 修 (横河電機)

・大学における統合情報システムの構築

黒川 恒雄 (工学院大)

・ソフト会社のリストラクチャリング

倉石 英一 (東洋情報システム)

・グループウェアによるホワイトカラーの生産性向上

関口 益照 (富士通総研)

——休 憩 (20分)——

パネル討論 (15:20~17:20)

・新しい情報システムのための人材とその養成

司会 堀内 一 (日立)

パネラ 池田 稔 (富士通), 小島 康寿 (通産省), 福川 忠昭 (慶大),

三森 定道 (日立), 宮崎 和郎 (アンダーセンコンサルティング)

懇親会 (17:30~19:00)

発表者やパネラとの個別討論や参加者どうしの親睦の場です。奮ってご参加ください。

会費 3,000 円 (参加費と一緒に申し込みください。)



## 第2日 6月19日(土)

## セッション1 (9:30~11:10)

## ダウンサイジングと分散処理

- ・ダウンサイジング実現への課題
- ・ダウンサイジング化による企業内情報処理教育の変革
- ・分散コンピューティングの体系的発展への課題
- ・分散ネットワーク経営とダウンサイジング
- ・パーソナル情報処理環境の概念とこれを支援する効果的なネットワークシステム

司会 内木 哲也(東洋大)  
 益田 美貴(住友信託銀行)  
 平野 一路(日本IBM)  
 富田 幸子(日本IBM)  
 米川 清(熊本商大)  
 松本 良治(大阪経済大)

## 招待講演3 (11:10~12:10)

- ・新しい情報化の潮流について

司会 平野 吉延(日本ユニシス)  
 松岡進士郎(大林組)

—昼食(60分)—

## セッション2 (13:10~15:30)

## システム設計・開発技法

- ・情報システム開発における思考スキルを養うために
- ・企業情報モデルのマルチメディア表現方法とその効用
- ・構造化分析設計技法の教育と適用
- ・基幹システム再構築における問題点と効率化のアプローチ
- ・ユーザ用仕様記述言語による仕様の正当性検証方式
- ・データベース設計とプログラム設計を統合するデータ中心のソフトウェア開発法と支援システム

司会 初瀬川 茂(東芝)  
 神沼 靖子(帝京技科大)  
 沢 恒雄(日本IBM)  
 斎 直人, 田中 清, 山本修一郎(NTT)  
 田村 泰彦(富士通システム総研)  
 上田 佳寛(ATR)

橋本 正明(九工大), 鬼塚 真(NTT), 横田 和久(ATR), 関根 純, 中川 優(NTT)

- ・協調作業を支援する情報システムの機能モデルについて 桑名 栄二, 尾上 裕子, 坂本 泰久(NTT)

—休憩(20分)—

## セッション3 (15:50~17:30)

## システム開発事例

- ・「新幹線型OA」における人間系諸課題への適用解法について
- ・UNIX ベースのクライアント/サーバ型大規模ビジネスシステムの構築
- ・中規模大学図書館業務の UNIX-DBMS による電算化の試み
- ・CS 情報システムの構築—新会計システムの事例研究
- ・医療用マルチメディアシステム

司会 中嶋 聞多(文教大)  
 山形 毅章(西日本旅客鉄道)  
 竹並 輝之, 中島 雅博(東芝)  
 尾崎 敬二(九州東海大)  
 宗澤 拓郎, 山口 貞敏(味の素システムテクノ)  
 飯塚 昌彦, 小川 研一, 前沢 宏忠(独協医科大),  
 降矢 典雄, 島田 一雄(都立航空工業高専), 一条 博, 田中 正史(ケンウッド)

## 閉会 (17:30)

「利用者指向の情報システムシンポジウム」

参 加 申 込 書

平成5年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 10,000 円, 学生 1,500 円, 非会員 15,000 円

*参加費には, 資料代が含まれています,

○論文集のみ (5,000 円, 送料込) _____ 冊

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____ 円を

a) 当日, 会場受付にて支払います.

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します.

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 _____ 様

*請求書類の必要な方はお申し出ください.

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください. (コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (FAX も可)

情報処理学会 シンポジウム係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先



機関・  
部課名

フリガナ

氏 名

会員番号

殿 ( )

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

## 「学会誌特集 세미나：BDD（二分決定グラフ）」開催について

Binary Decision Diagram（以下 BDD）は、二分決定グラフとも呼ばれ、論理関数を場合分け木（決定木）で表現するものである。論理関数を効率的に計算機上で取り扱うことは、計算機科学の基本的な問題であり、論理回路の考えができた時から研究されてきたと言ってよい。BDD は通常の決定木において、場合分けする変数順を固定することで、決定木中の部分木を共有し、結果的に論理関数の標準形となっている。これにより、BDD 上のグラフ操作として論理演算を表現でき、計算機上で効率的に表現できるようになった。従来の論理関数の表現方法である、真理値表や論理式の積和形表現に比べ、桁違いに大きな関数が扱えるようになっている。

BDD は、効率的に扱える論理関数の範囲を飛躍的に広げたという点で、さまざまな分野に大きな影響を与えている。特に、デジタルシステム設計の CAD に関するさまざまな問題で、BDD を用い初めて実用規模の問題を解けるようになったという報告が多く実際の意味での BDD の影響は極めて大きいと言える。また、BDD が實際上強力であるという報告が増すにつれ、CAD 以外の分野への応用も活発化している。

本セミナーでは、BDD に関する基礎、処理技術、さまざまな分野への応用、並列処理技術など、BDD に関する一通りの話題を平易に解説する。講師には、情報処理学会誌の特集「BDD(二分決定グラフ)」の執筆者を迎え、学会誌では誌面の都合で触れられなかった点や、その後の国際会議等の最新動向を加えて具体的かつ分かりやすく説明していただく。CAD 技術者、設計者のみでなく、論理関数処理や組合せアルゴリズムに興味を持つ一般の研究者や技術者が本セミナーに参加されることをお勧めいたします。

日 時 平成 5 年 6 月 22 日（火）  
場 所 工学院大学 3 階 312 教室（新宿区西新宿）  
参 加 費 会員 15,000 円、非会員 20,000 円、学生 5,000 円  
（資料として学会誌「情報処理」5 月号をご持参ください。）  
学会誌をお持ちでない方には、1,600 円でお頒けします。  
申込締切 平成 5 年 5 月 31 日（月）

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

開会のあいさつ（10：00～10：10）	佐藤 政生（早大）
BDD（二分決定グラフ）とは（10：10～11：00）	石浦菜岐佐（阪大）
計算上での BDD の処理技法（11：00～11：50）	湊 真一（NTT）
—— 昼 食（11：50～13：00）——	
BDD の応用（13：00～13：50）	藤田 昌宏（富士通研）
BDD の CAD への応用（13：50～14：40）	藤田 昌宏（富士通研）
—— 休 憩（14：40～15：00）——	
組合せ最適化問題の BDD による解法（15：00～15：50）	柳谷 雅之（NTT）
BDD の並列処理技術（15：50～16：40）	木村 晋二（神戸大）
閉会のあいさつ（16：40～16：50）	笠原 博徳（早大）

会  
告

「学会誌特集セミナー：BDD（二分決定グラフ）」

参加申込書

平成5年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員，賛助会員 15,000 円 非会員 20,000 円 学生 5,000 円

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____ 円を

a) 当日，会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

1. 第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____ 様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 セミナ係 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

.....  
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先 **T** _____

機関・  
部課名 _____

フリガナ  
氏 名 _____

会員番号

殿 ( _____ )

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

# 「Groupware '93 シンポジウム」開催について

## ——マルチメディアと通信インフラ——

グループウェア研究会では、下記のようなシンポジウムを予定しています。多数のご参加をお待ちしております。  
参加費、参加申込み方法など、開催の詳細については次号に掲載いたします。

日 時 平成5年7月8日(木) 10:00~17:00

場 所 工学院大学(新宿区西新宿)

問合せ先 223 横浜市港北区日吉 3-14-1

慶応義塾大学 理工学部 計測工学科 岡田謙一

Tel. 045 (563) 1141 (ex 3537) FAX 045 (562) 7625 e-mail: okada@inst.keio.ac.jp

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム (予定) ~~~~~

#### 基調講演

通信インフラの歴史的転換期

松下 温(慶大)

#### 招待講演 1

グループウェア実現のためのマルチメディアネットワークと分散処理技術

阪田 史郎(NEC)

#### 招待講演 2

グループウェアからみた通信ネットワークの展開と課題

木下 研作(NTT)

#### パネル討論

人間・社会は技術に何を求めるか? (仮題)

座長: 松下 温(慶大)

パネリスト 会津 泉(国際大), 落合 勲(信州短大), 川崎 賢一(駒沢大), 野中郁次郎(一橋大)

米田 英一(東芝), 未 定(郵政省)

## 夏のプログラミング・シンポジウム「可視化」のお知らせ

今年の夏のシンポジウムは以下のように「可視化」をテーマに開催します。

- 計算過程/結果の可視化
- 思考, 証明, 知識, 発想の可視化
- プログラムやデータ構造の可視化
- 自然・社会現象の可視化
- バグの可視化
- 文書の可視化 など

とにかく、通常は見えない・見えにくいものの可視化に関する斬新なアイデアを募集します。

広い意味で目に見えればよいので、図、グラフ、CG は言うに及ばず、文字や、ひょっとしたら音による可視化も歓迎です。自由な発想を展開する場として、このシンポジウムをお使いください。

日 時 1993年7月19日(月) 14:00~21日(水) 11:30

場 所 池田町まきばの家〔北海道中川郡池田町清見 Tel. 01557 (2) 4371〕

定 員 50名

参 加 費 30,000円〔宿泊費・食費込み、ただし家族は実費(20,000円程度)〕

主 査 中島 秀之(電総研)

幹 事 多田 好克(電通大), 斎藤 隆文(NTT), 伊知地 宏(富士ゼロックス)

発表申込 発表者名, 性別, 所属, 連絡先, E-mail address, アブストラクト, 使用希望機材(OHP, スライド, ビデオ等)をA4一枚程度に書いて申し込んでください。

参加申込 発表者は自動的に参加申込みとしますが、それ以外の連名者は別途参加申込みをお願いします。発表を聞くだけの参加はその旨を明記してお申込みください。なお、発表者、参加者だけでなく、その家族の宿泊も歓迎いたします。

申込・連絡先 305 つくば市梅園 1-1-4 電子技術総合研究所 協調アーキテクチャ研究室

中島 秀之 E-mail: nakashim@etl.go.jp

連絡はできれば電子メールでお願いします。

締 切 発表, 参加申込みともに5月24日(月) 必着

# 「グラフィクスと CAD」シンポジウム論文募集

## ——コンピュータグラフィクスの新たな展開——

グラフィクスと CAD の研究開発は近年ますます盛んとなり、基礎、応用、ハードウェアなどの分野で多くの興味深い話題を提供しております。当学会では過去 10 回、標記シンポジウムを開催し、多数の研究者、技術者の参加を得て、大きな成果を得てまいりました。本年も下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、グラフィクスと CAD の分野における最新の成果、新しい手法の提案、今後の展望、先端技術の追及など、活発な意見交換や議論を喚起する、興味深い論文の応募をお願いいたします。

**開催日時** 平成 5 年 9 月 21 日（火）～22 日（水） 9:00～18:00

**場 所** 工学院大学新宿校舎 312 教室

**テ ー マ** (主要なテーマは以下のとおりですが、必ずしもこれらに限りません)

・グラフィクスの基礎

表示、レンダリング、グラフィクス入力、データ構造とデータベース、計算幾何学

・グラフィクスシステム

グラフィクス言語とソフトウェア、ディスプレイ、入力デバイス、ワークステーション、ヒューマンインタフェース、標準化

・グラフィクスの応用

アニメーション、アート、フラクタル、ビジネスグラフィクス、人工現実感、人物や自然物の表示、文書や画像の処理、サイエンティフィックビジュアルライゼーション、マルチメディア

・CAD

設計方法論、形状モデリング、ソリッドモデリング、図面の入力と処理、エンジニアリングデータベース、インテリジェント CAD、システム構成法

- 実施方法**
- (1) 完成された研究論文のみでなく、問題提起、新しい試み、提案などさまざまな性格のオリジナル論文を歓迎します。
  - (2) A4 判用紙 2 枚以内の、論文内容がよく伝わるような論文概要（2000 字程度で和文に限る）を提出してください。この用紙には、題名、氏名、所属、連絡先、分野を示すキーワードも併記してください。
  - (3) 応募論文は、シンポジウム実行委員会で審査いたします。採択されたものについては、本論文（カメラレディ、本学会研究会様式で 10 ページ以内）を提出していただきます。カラーページも設けます（有償）。
  - (4) 採択された論文は、研究賞の対象となります。
  - (5) スケジュール
    - ・論文概要提出締切り 平成 5 年 4 月 30 日（金）必着
    - ・論文審査結果通知 同 6 月中旬
    - ・カメラレディ稿締切り 同 7 月 30 日（金）必着

**参 加 費** 正会員 15,000 円、非会員 25,000 円、学生会員 5,000 円

**申 込 先** 情報処理学会「グラフィクスと CAD」シンポジウム係  
160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F  
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

## 「知識のリフォーメーション」シンポジウム論文募集

「人工知能研究会」では平成3年11月27, 28日東京大学において第一回「知識のリフォーメーション」シンポジウムを開催し、およそ100名の方に参加していただき、密度の高い議論を行うことができました。

知識のリフォーメーションとは、知識の表現形式を固定して内容を変化させようという学習研究分野における考え方と、逆に知識の内容を固定した上で表現形式を変化させようという知識表現研究分野における考え方を、知識の効率的な表現を目指した変化として統一的にとらえた新しい研究方向です。

今回その第二回を下記のとおり企画いたしました。知識のマクロ化・チャंक化、知識表現の変換、メディアの変換、遺伝アルゴリズム、事例に基づく推論、コネクショニズムなど知識の表現形式と学習の両面からの研究を中心に論文を募集しますので、奮ってお寄せください。

**日時** 平成5年11月25日(木)～26日(金) 9:00～17:00

**場所** 東京工業大学百年記念館

**主催** 情報処理学会 人工知能研究会

**協賛** 人工知能学会、電子情報通信学会 人工知能と知識処理研究会(予定)

**トピックス** (主要なテーマは以下のとおりですが、必ずしもこれらに限りません)。

- ・知識のマクロ化・チャंक化
- ・知識のコンパイレーション
- ・知識表現の変換
- ・メディアの変換
- ・遺伝アルゴリズム
- ・事例に基づく推論、記憶に基づく推論
- ・演繹学習
- ・帰納学習
- ・類推
- ・ニューラル・ネットワークとの融合
- ・説明に基づく学習
- ・マルチパラダイム学習
- ・知識ベースの獲得・管理と再構成

### 実施方法

- (1) 発表論文については、審査制とする。
- (2) 応募論文は、アブストラクトを含めるものとし、和文(A4判で10枚以内)または英文(A4判ダブルスペースで10枚以内)とする。ただし、英文論文には、別に和文アブストラクトを添付のこと。
- (3) スケジュールは次のとおりとする。
  - ・論文締切 7月31日(土)
  - ・受理通知 8月31日(火)
  - ・最終論文提出 10月16日(土)
- (4) 投稿料等はありませんが、発表者も参加費(会員一万円予定)が必要です。

応募される方は、論文3部を下記へご送付ください。

**申込先** 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F  
(社)情報処理学会「知識のリフォーメーション」シンポジウム係  
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

**問合せ先** 211 川崎市中原区上小田中 1015 (研 60)  
富士通研究所 ソフトウェア研究部 第一研究室 吉田 裕之  
Email:yuki@flab.fujitsu.co.jp, Tel. 044 (754) 2675 FAX 044 (754) 2570

## 「ODP 基本参照モデルの開発と動向」 情報技術標準化フォーラム開催について

開放型システム間相互接続 (OSI) に次ぐ大規模な国際標準開発として、開放型分散処理 (ODP: Open Distributed Processing) が関心を集めています。その端緒として、1988 年以来 ODP の基本参照モデルの開発が行われていますが、その 4 部構成のうち中心となる 2 つが CD (標準素案) の段階に至っています。このたび、これらを担当している ISO/IEC JTC1/SC21 の全体会議が横浜で開催されるのを機に、活動の中心になっておられる方々による講演会を計画しました。X/Open の分散処理関係者などもメンバとして参加しますので、活発な議論が展開されると考えられます。多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 平成 5 年 6 月 14 日 (月) 10:00~17:00  
場 所 機械振興会館 地下 2 階ホール (東京都港区芝公園 3-5-8)  
主 催 (社)情報処理学会 情報規格調査会  
後 援 通商産業省 工業技術院  
定 員 100 名 (申込締切日までの先着順)  
申込締切日 平成 5 年 6 月 7 日 (月)  
参 加 費 当学会正会員および規格賛助会社社員 8,500 円、一般 10,500 円  
参加申込 (社)情報処理学会 情報規格調査会  
105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号  
Tel. 03 (3431) 2808 FAX 03 (3431) 6493

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 概要および紹介

浅野 正一郎 (学術情報センター)

#### ODP 参照モデルの概要

Dr. Eng Chew (DC 21/WG 7 コンビナ)

ODP 参照モデルの説明と将来に向けての展望について

#### ODP 参照モデル 第 2 部 (記述的モデル) の概要

Dr. Jean-Bernard Stefani (ラポータ)

一般の分散処理システムを記述できる諸概念とそれらの相互関係について

#### ODP 参照モデル 第 3 部 (規定的モデル) の概要

Dr. Andrew Herbert (ラポータ)

ODP システムのアーキテクチャとそこで規定される ODP 機能について

#### ODP トレーダ

Dr. Mirion Bearman (ラポータ)

ODP の最初の具体的標準であるトレーダについて

#### OMG (OBJECT Management Group) からの見方

OMG 代表者

OMG の標準化対象と ODP 参照モデルとの関連について

#### 質疑および討論

概要および紹介は日本語、講演者の説明は英語で行い、質疑は、SC 21/WG 7 小委員会の有志委員が通訳取次ぎをいたします。



情報技術標準化フォーラム「ODP 基本参照モデルの開発と動向」

参 加 申 込 書

平成 5 年 月 日

申込者 氏名 _____

連絡先 (住所、会社名、所属) 〒 _____

Tel. _____

標記フォーラムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

当学会正会員および規格賛助会社社員 8,500 円, 一般 10,500 円

○送金方法

_____円を _____月 _____日送金します。(金額、送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

a. 現金書留

送金先 105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号  
(社)情報処理学会 情報規格調査会

b. 銀行振込 (口座番号をお間違いないようお願いいたします)

三菱銀行虎ノ門公務部 普通預金 0022635  
名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号  
(社)情報処理学会 情報規格調査会 池田芳之

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書 通

請求先 _____

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください (この用紙のコピーで可)

## 学術情報センターの情報検索サービス 学会発表データサービスの統合サービス開始について

当学会では学術情報センター（所長 猪瀬 博）の学会発表データベース第一系（情報・電気・制御等）に、19年より会員の皆さまのご協力を得て全国大会・研究会における発表概要を提供、当学会の会員は提供データについての検索利用ができることになっております。

このたび、学術情報センターでは学際領域研究、複合領域研究の増加にともなう利用者からの改善要望に応えるため関連データの検索が一度に行える統合検索システムサービスを開始したとの通知がありました。これにともない当学会会員は学会発表データベース第一系～第八系（データ件数2月現在、約11万件）を学会発表データベースとて利用できることになりました。下記の利用方法等をご参照のうえご利用ください。

### 記

- |                     |                                                                                                     |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 利用できるデータベース      | 学会発表データベース（第一系～第八系）                                                                                 |
| 2. 利用できる者           | 当学会の正会員                                                                                             |
| 3. 利用手続き            | 学術情報センターシステム利用申請書および記入要領等を学術情報センター<br>り入手し、記入後当学会経由で提出する。利用申請書は当学会にもあります                            |
| 4. 利用料金             | 接続料（データベースに接続している時間に対して） 50 円／分<br>ヒット料（検索された情報を端末に出力した件数に対して） 13 円／件                               |
| 5. 利用問合せ先（利用方法等を含む） | 112 東京都文京区大塚 3 丁目 29 番 1 号<br>学術情報センター 管理部共同利用課共同利用係<br>Tel. 03(3942)6933～4                         |
| 6. 学会窓口             | 160 東京都新宿区西新宿 1 丁目 24 番 1 号<br>(社)情報処理学会 全国大会または研究会係<br>Tel. 03(5322)3535 e-mail: nakada@ipsj.or.jp |

国際会議論文集の頒布について

情報処理学会が主催・共催した国際会議の論文集を会員に頒布いたします。ご希望の方は下記申込書によりご購入ください。

平成5年 月 日  
会員特価 国内送料共

国 際 会 議 名	代金各冊	申込数	金 額
1 第12回分散処理システム国際会議 (1992.6.9～12)	8,000		
2 第15回 COMPSAC 国際会議 (1991.6.9.～12)	5,000		
3 第1回マルチデータベースシステム 相互運用に関する国際ワークショップ (1991.4.8～9)	5,000		
4 共有記憶型並列処理国際シンポジウム (1991.4.2～4)	5,000		
5 第1回 データベースシステムの 高度応用に関する国際シンポジウム (1989.4.10～12) [ハードカバー]	5,500		
6 第2回 データベースシステムの 高度応用に関する国際シンポジウム (1991.4.2～4) [ハードカバー]	7,000		
合 計			

1. 送金・支払方法

¥ を次の方法で送金します。(送金日 月 日)

1) 現金書留 2) 郵便振替 (東京 5-83484) 3) 銀行振込

銀行振込口座番号 (いずれも普通預金口座)

第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人：社団法人 情報処理学会

請求書の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先名義

2. 申込先 (下記まで郵送または FAX で送付のこと)

情報処理学会 国際係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel.03(5322)3535 FAX 03(5322)3534

申込者  
連絡先 〒

機関・  
部課名

フリガナ  
氏 名 殿

Tel. (ex. ) FAX

会  
告

第 12 回分散処理システム国際会議  
先端技術 세미나テキスト頒布について

於パシフィコ横浜 1992 年 6 月 9 日  
(OHP 資料程度のものです)

項番	内 容	頁数	申込数	金 額
S 1	オブジェクト指向データベース:概念およびシステムアーキテクチャ 西尾章治郎 (大阪大学)	80		
S 2	分散オペレーティングシステム Partha Dasgupta(Arizona State University)	65		
S 3	分散共有メモリ Willy Zwaenepoel(Rice University)	63		
S 4	コンピュータ支援による協調作業 (CSCW) 西田正吾 (三菱電気)	70		
S 5	並列・分散処理プログラムやシステムにおける視覚化のためのソフト ウェアツール Thomas L. Casavant (University of Iowa)	80		
S 6	リスポンスマルチコンピュータシステム Mirosław Malek(ONR & University of Texas, Austin)	82		
	合 計			

1. 代金 各冊 2,000 円 (送料・税込み)
2. 送金・支払方法
- ¥ _____ を次の方法で送金します。(送金日 ____ 月 ____ 日)
- 1) 現金書留 2) 郵便振替 (東京 5-83484) 3) 銀行振込
- 銀行振込口座番号 (いずれも普通預金口座)
- 第一勧業銀行新宿西口支店 2049562
- 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608
- 名義人: 社団法人 情報処理学会
- 請求書の必要な方はお申し出ください。
- 請求書 _____ 通。見積書 _____ 通。納品書 _____ 通
- 請求先名義 _____
3. 申込先 (下記まで郵送または FAX で送付のこと)
- 情報処理学会 国際係
- 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F
- Tel.03(5322)3535 FAX 03(5322)3534

申込者  
連絡先 〒 _____

機関・  
部課名 _____

フリガナ  
氏 名 _____

殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

# Join the IEEE Computer Society

The World's Largest Organization  
of Computer Professionals.



AVOID  
TECHNICAL  
OBSOLESCENCE  
STAY IN TOUCH  
WITH THE  
FUTURE

IEEE コンピュータ ソサイエティは  
情報処理学会員の皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

## MEMBERSHIP BENEFITS

### Computer Society Press Books and Videos

コンピュータ ソサイエティプレスでは年間約120冊の新刊を発行しています。700タイトル以上にも及ぶプロシーディングス又、チュートリアル、ビデオテープを随時取り揃え、メンバーの方々へは50%前後のディスカウントプライスで提供しています。

最新カタログ、出版物のプレビュー等の無料メールサービスを提供しています。  
ご希望の方は当事務所までご連絡願います。即日送付致します。

### Conferences and Tutorials

世界各地で毎年100以上の国際会議を開催しています。メンバーの方々はテクニカルセッションや展示をともなう大規模な会議から少人数のワークショップまで、いずれも特別割引価格にてご参加いただけます。

### COMPMAIL II —communications of the future with full Internet access

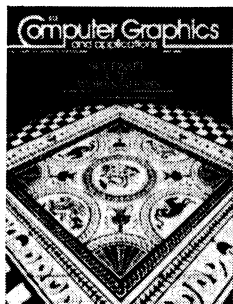
COMPMAILはコンピュータプロフェッショナルの為の電子メールネットワークです。  
単独での受発信はもとより、複数間でのコミュニケーションも可能です。  
PCやターミナルより雑誌への論文投稿ができるほか、当学会へのブリテンボードへもアクセスできます。

### Professional Growth

世界各国からの10万人の会員は論文発表、雑誌への投稿、編集委員、論文審査、ローカルチャプターへの参加等々、様々な方面で活躍しています。この機会にコンピュータソサイエティにご入会いただき、皆様のお仕事やご研究にお役立て下さい。

# SPECIAL-INTEREST PERIODICALS

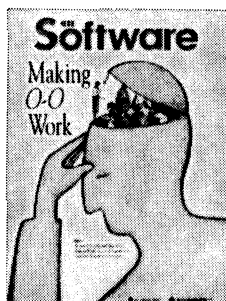
定期購読誌の紹介 (価格は年間購読料です)



## IEEE Computer Graphics and Applications

- Scientific visualization
- Animation
- CAD/CAM
- Graphics in medicine, science, and business

年間 6 冊 / ¥ 3,380



## IEEE Software

Software design, development, and implementation techniques:

- Programming environments
- Interface design
- Technology transfer
- Object-oriented techniques
- Verification and validation

年間 6 冊 / ¥ 3,380

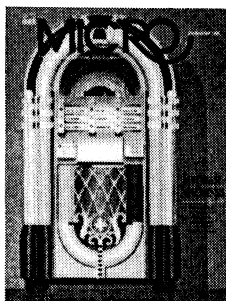


## IEEE Design & Test of Computers

Design and test of electronic equipment, from chips and assemblies to systems:

- Design automation
- CAD/CAE tools
- Test strategies for memory and logic
- Built-in self-test
- Design for manufacturability

年間 4 冊 ¥ 2,860

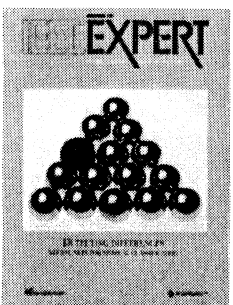


## IEEE Micro

Microprocessor and microcomputer design, performance, and use:

- Systems integration
- RISC, ASIC, DSP
- Fault tolerance
- Communications and buses
- Multiprocessing

年間 6 冊 ¥ 2,990

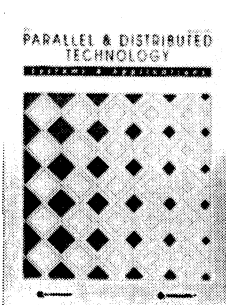


## IEEE Expert

Development and application of expert systems and AI.

- Knowledge/data engineering
- Neural networks
- Planning and problem solving
- Natural language processing
- Real-time applications

年間 6 冊 / ¥ 2,600

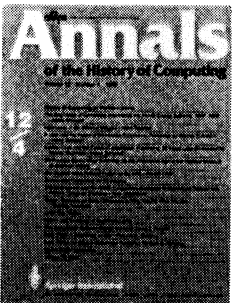


## IEEE Parallel and Distributed Technology **NEW!**

Readable articles on hardware and software topics aimed at developers and practitioners, with a focus on applications:

- Problem-solving
- Innovative parallel programming languages
- Parallel and distributed computing technology
- Novel features and applications

年間 4 冊 / ¥ 2,600



## IEEE Annals of the History of Computing

Chronicles significant historical contributions and their impact on computing today.

年間 4 冊 / ¥ 2,080

※下記の各トランザクションの詳細は当事務所までお問い合わせ下さい。

## IEEE Transactions on:

Computers  
Knowledge and Data Engineering  
Parallel and Distributed Systems  
Pattern Analysis and Machine Intelligence  
Software Engineering

**NEW!** VLSI Systems

**NEW!** IEEE/ACM Transactions on Networking

IEEE コンピュータ ソサイエティ入会申込書(ローマ字で記入して下さい) ◆



IEEEコンピュータ ソサイエティ入会受付中 (半年会員期間 1993年7/1~12/31)  
 姉妹学会である情報処理学会会員の方は、この用紙にご記入いただくだけで  
 ご入会になれます。左記のコンピュータマガジンは入会后、自動的に毎月  
 配布されます。この時期どうぞお申し込み下さい。 (締切日: 8月20日)

該当する番号を○で囲み、金額欄にチェック(✓)を記入して下さい。

1. コンピュータソサイエティに入会します。

半年会費 ¥3,770 ☐ コンピュータマガジン空輸料金込半年会費 ¥8,710 ☐

2. 下記の雑誌を購読します。

		年間購読料	雑誌空輸料金込購読料
IEEE CG & Applications	(年6回発行)	¥1,690 <input type="checkbox"/>	¥3,770 <input type="checkbox"/>
IEEE Design & Test	(年4回発行)	¥1,430 <input type="checkbox"/>	¥3,120 <input type="checkbox"/>
IEEE Expert	(年6回発行)	¥1,300 <input type="checkbox"/>	¥3,250 <input type="checkbox"/>
IEEE MICRO	(年6回発行)	¥1,495 <input type="checkbox"/>	¥3,705 <input type="checkbox"/>
IEEE Software	(年6回発行)	¥1,690 <input type="checkbox"/>	¥4,030 <input type="checkbox"/>
IEEE Annals of the History of Computing	(年4回発行)	¥1,040 <input type="checkbox"/>	¥3,770 <input type="checkbox"/>
IEEE Parallel & Distributed Technology	(年4回発行)	¥1,300 <input type="checkbox"/>	

合計金額.....

支払い方法  
PAYMENT

☐ 現金書留 ☐ 銀行振込 ☐ Mastercard ☐ VISA ☐ AMEX  
 カード番号..... 有効期限.....

コンピュータ ソサイエティへ入会するにあたって、IEEEおよびコンピュータ ソサイエティ  
 の定款に従うことを約束します。

署名..... 日付.....

氏名..... IPSJ 会員番号.....  
 (FIRST) (LAST)

自宅住所  
MAILING  
ADDRESS

.....  
 .....

最終学歴  
EDUCATION

Course..... Degrees received.....  
 Name of educational  
 Institution.....

勤務先  
OCCUPATION

Title of position.....  
 Firm Name.....  
 Address.....

書類送付先 〒107 東京都港区南青山2-19-1 大島ビル TEL (03) 3408-3118  
 IEEE コンピュータ ソサイエティ FAX (03) 3408-3553

## 支 部 だ よ り

## 平成5年度支部総会について

各支部の通常総会が下記のとおり開催されますので、ぜひご出席ください。なお、各支部総会の案内状は、支部内の正会員各位に別途郵送されますが、ご欠席の場合には必ず委任状をご返送ください。

支部	日 時	会 場	講 演 会
北 海 道	4 月 23 日 (金) 17:00~18:00	北海道大学学術交流会館 (札幌市北区北 8 条西 5 丁目)	情報処理北海道シンポジウム '93 9:00~17:00 22 日 (13:00~14:00) 特別講演 北海道の自然と生物 坂本与市 (北海道文理科学短大) 23 日 (13:00~15:00) 招待講演 ①ロボティクスの現状と将来 嘉数侑昇 (北大) ②コンピュータ・グラフィクスとアート 竹村伸一 (初代北海道支部長)
東 北	5 月 14 日 (金) 13:00~15:00	東北大学工学部電気・情報系 (仙台市青葉区荒巻字青葉)	15:20~17:00 効率的な証明に関する最近の発展 伊東利哉 (東工大)
東 海	5 月 11 日 (火) 14:30~16:00	愛知厚生年金会館 (名古屋市千種区池下 2-63)	16:00~17:30 感覚と感性 杉江 昇 (名大)
関 西	5 月 11 日 (火) 13:30~14:00	NTT 情報文化センタ ホール (大阪市北区堂島 3-1-21 NTT 堂島ビル)	14:00~16:00 ①バーチャル・リアリティと臨場感通信 — 研究の現状と動向 — 寺島信義 (ATR 通信システム研究所) ②光ソリトン通信 長谷川晃 (阪大)
中 国	5 月 14 日 (金) 14:30~15:00	中国電力(株) 2 号館 8 階 大会議室 (広島市中区小町 4-33)	15:00~16:30 演題未定 講師未定
四 国	4 月 16 日 (金) 14:30~15:00	徳島厚生年金会館 (徳島市南前川町 3-1-22)	15:00~16:00 B-ISDN の現状と動向について 井上 洋 (沖電気)
九 州	5 月 14 日 (金) 13:30~14:30	九州大学大型計算機センター 多目的講習室 (福岡市東区箱崎 6-10-1)	14:30~16:00 演題未定 大槻説乎 (九工大)
北 陸	5 月 21 日 (金) 14:30~15:30	金沢大学工学部秀峯会館 (金沢市小立野 2-40-20)	15:30~16:50 演題未定 講師未定



## 本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内*

### <国内会議>

第 50 回産業用ロボット利用技術講習会

平成 5 年 4 月 13 日 (火)～14 日 (水)

平成 5 年 4 月 22 日 (木)～23 日 (金)

東京・電機工業会館

名古屋市工業研究所

JCIE セミナー「入門者から専門家まで これから役立つ新しい色彩学」

平成 5 年 5 月 11 日 (火)

東京・電力館

講習会「遺伝的アルゴリズムとその応用」

平成 5 年 6 月 1 日 (火)

東京・明治大学

第 18 回 光学シンポジウム

平成 5 年 6 月 7 日 (月)～8 日 (火)

東京大学生産技術研究所

第 9 回 ESR 応用計測研究会

平成 5 年 6 月 17 日 (木)～18 日 (金)

岡山セラミックス財団研究所

セミナー「アクティブコントロールの制御理論的アプローチ」

平成 5 年 6 月 23 日 (水)～24 日 (木)

大阪・たかつガーデン

平成 5 年 4 月 22 日 (木)～23 日 (金)

東京・ダイヤモンド社

講習会「流体計測に関する国際規格への対応」

平成 5 年 6 月 30 日 (水)

東京工業大学

平成 5 年度第 1 回 OR セミナー

平成 5 年 7 月 2 日 (金)

東京ガス本社

第 4 回 インテリジェント FA シンポジウム

平成 5 年 7 月 7 日 (水)～8 日 (木)

メルパルク OSAKA

シンポジウム「人にやさしい自動車生産システム」

平成 5 年 7 月 16 日 (金)

東京・建築会館

ASP シンポジウム

平成 5 年 9 月 16 日 (木)～17 日 (金)

石川・山水閣

光学連合シンポジウム旭川 '93

平成 5 年 9 月 25 日 (土)～26 日 (日)

北海道・大雪クリスタルホール

### <国際会議>

KB&KS '93 一大規模知識ベースの構築と共有に関する国際会議 1993

1993 年 12 月 1 日 (水)～4 日 (土)

東京・京王プラザホテル

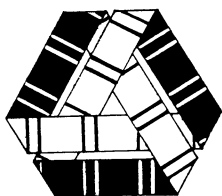
DOOD '93 一第 3 回 演繹とオブジェクト指向データベース国際会議

1993 年 12 月 6 日 (月)～8 日 (水)

Arizona, U. S. A.

* 詳細は本号会議案内欄参照

## 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（＊：本年既掲載分，＊＊：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

### 国際会議

#### ICICIS '93—Int'l. Conf. Intelligent & Cooperative Information Systems (**066)

1. May 11-14, 1993
2. Rotterdam, Netherlands
3. Mike Papazoglou  
QUT School of Information  
Systems, Faculty of Information  
Technology, GPO Box 2434  
Brisbane QLD 4001, Australia  
Phone. (07) 864-2111, FAX (07) 864-1969

#### ICDCS '93—The 13th Int'l. Conf. on Distributed Computing Systems (016)

1. May 25-28, 1993
2. Pittsburgh Hilton, Pittsburgh, PA
3. IEEE-CS 東京事務所  
Tel. 03 (3408) 3118 FAX 03 (3408) 3553
4. 参加費：会員 \$325 (4月30日前), \$425 (5月1日後)

#### HCI Int'l. '93—5th Int'l. Conf. on Human-Computer Interaction (**026)

1. August 8-13, 1993
2. Florida, USA
3. Gavriel Salvendy, Conf. Chair, HCI Int'l. '93, School of Industrial Engineering, Purdue University, 1287 Grissom Hall, West Lafayette, IN 47907-1287  
Tel. 317-494-5426 FAX 317-494-0874  
E-mail: salvendy@ecn.purdue.edu
4. the deadline of abstract: May 15, 1993

#### I JCAI ワークショップ「定性推論の工学的問題」

(017)

1. 1993年8月29日
2. Savoie, France
3. 京都大学工学部応用システム科学 石田 好輝  
Tel. 075 (753) 5516
4. 論文締切：1993年3月1日

#### APISCA '93—システム監査アジア太平洋会議

(*011)

1. 1993年8月30日(月)～9月1日(水)
2. 虎ノ門バストラル
3. APISCA '93 会議事務局 (株)ブレーン 80  
Tel. 03 (3585) 3490, FAX 03 (3585) 3984
4. 参加費：会員 65,000 円, 一般 75,000 円

#### KB&KS '93—大規模知識ベースの構築と共有に関する国際会議 1993 (018)

1. 1993年12月1日(水)～4日(土)
2. 京王プラザホテル (東京・新宿)
3. (財)日本情報処理開発協会 AI・ファジィ振興センター  
片岡 幸一  
Tel. 03 (3432) 9390, FAX 03 (3431) 4324

#### DOOD '93—第3回 演繹とオブジェクト指向データベース国際会議 (019)

1. 1993年12月6日(月)～8日(水)
2. Arizona, USA
3. 図書館情報大学図書館情報学部図書館情報学科  
増永 良文 Tel. 0298 (52) 0511 (内 340),  
FAX 0298 (52) 4326

#### EMC '94—1994 年環境電磁工学国際シンポジウム

(**083)

1. 1994年5月17日(火)～19日(木)
2. ホテル仙台プラザ (仙台市)
3. 東北学院大学工学部電気工学科 越後 宏  
Tel. 022 (368) 1115 FAX 022 (368) 7070  
E-mail: ECHIGO@tjcc.tohoku-gakuin.ac.jp
4. 論文梗概締切：1993年7月31日

#### HCI '95—Towards a Human Oriented Computer Society (020)

1. 1995年7月9日(日)～14日(金)
2. パシフィコ横浜
3. 武蔵工業大学経営工学科 日本人間工学会 林 喜男  
Tel. 03 (3703) 3111

### 国内会議

#### 第50回産業用ロボット利用技術講習会

1. 2. (東京) 1993年4月13日(火)～14日(水)  
電機工業会館 (千代田区永田町)  
(名古屋) 1993年4月22日(木)～23日(金)  
名古屋市工業研究所 (熱田区)
3. (社)日本産業用ロボット工業会  
Tel. 03 (3434) 2919 FAX 03 (3578) 1404
4. 参加料：会員 25,000 円, 一般 26,000 円

#### 第6回 学協会共通問題に関する討論会

1. 1993年4月21日(水)
2. 鹿島 KI ビル (東京都港区赤坂)
3. (社)日本工学会  
Tel. 03 (3475) 4621, FAX 03 (3403) 1738
4. 参加費：1,000 円

## JCIE セミナー「入門者から専門家まで これから役立つ新しい色彩学」

1. 平成5年5月11日(火)
2. 電力館(東京都渋谷区神南)
3. (社)日本照明委員会 Tel. 03 (3201) 0645
4. 参加費: 会員 4,000 円, 学生 2,000 円, 非会員 10,000 円

## '93 新素材展併設セミナー・シンポジウム

1. 平成5年5月18日(火)~21日(金)
2. 幕張メッセ(千葉市)
3. 日本経済新聞社 事業局総合事業部  
Tel. 03 (3245) 9082 FAX 03 (3243) 9086

## 「遺伝的アルゴリズムとその応用」講習会

1. 平成5年6月1日(火)
2. 明治大学百周年記念会館
3. 日本ファジィ学会  
Tel. 045 (212) 8253 FAX 045 (212) 8256
4. 参加費: 会員 20,000 円, 学生 7,000 円, 非会員 30,000 円

## 第18回光学シンポジウム

1. 1993年6月7日(月)~8日(火)
2. 東京大学生産技術研究所
3. (社)応用物理学会 Tel. 03 (3238) 1044

## 第11回光波センシング技術研究会講演会

1. 平成5年6月10日(木)~11日(金)
2. 川崎市産業振興会館
3. 連企画気付 光波センシング技術研究会事務局  
Tel. 03 (3433) 2543 FAX 03 (3433) 3904
4. 参加費: 一般 10,000 円, 学生 2,000 円

## 第9回 ESR 応用計測研究会

1. 1993年6月17日(木)~18日(金)
2. 岡山セラミックス財団研究所
3. 大阪大学理学部 宇宙地球科学科地球物性学講座内  
ESR 応用計測研究会  
Tel. 06 (844) 1151 (内 4168) FAX 022 (368) 7070

## セミナー「アクティブコントロールの制御理論的

## アプローチ理論から応用まで」

1. 2. (大阪) 1993年6月23日(水)~24日(木)  
たかつガーデン(天王寺区)
- (東京) 1993年7月1日(木)~2日(金)  
ダイヤモンド社(千代田区霞が関)
3. システム制御情報学会  
Tel. 075 (751) 6413 FAX 075 (751) 6037
4. 聴講料: 会員 35,000 円, 学生 15,000 円, 非会員 50,000 円

## 講習会「流体計測に関する国際規格への対応」

1. 平成5年6月30日(水)
2. 東京工業大学百年記念館(目黒区大岡山)
3. (社)計測自動制御学会  
Tel. 03 (3814) 4121 FAX 03 (3814) 4699
4. 参加費: 会員 11,000 円, 学生 5,500 円, 非会員 16,000 円

## 平成5年度第1回 OR セミナー「線形計画問題に対する内点法の基礎」

1. 平成5年7月2日(金)
2. 東京ガス本社(港区海岸)
3. (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会  
Tel. 03 (3815) 3351 FAX 03 (3815) 3352
4. 参加費: 会員 22,000 円, 学生 5,000 円, 非会員 30,000 円

## シンポジウム「人にやさしい自動車生産システム」

1. 1993年7月16日(金)
2. 建築会館(東京)
3. (社)自動車技術会  
Tel. 03 (3262) 8211 FAX 03 (3261) 2204
4. 参加費: 会員 15,000 円, 学生 4,000 円, 非会員 30,000 円

## ASP シンポジウム

1. 1993年9月16日(木)~17日(金)
2. 山水閣(石川県江沼郡山中温泉)
3. システム制御情報学会 ASPS 係  
Tel. 075 (751) 6413 FAX 075 (751) 6037
4. 参加費: 会員 20,000 円, 学生 15,000 円, 非会員 25,000 円

## 第23回安全工学シンポジウム

1. 1993年9月29日(水)~30日(木)
2. (社)日本建築学会(東京都港区芝)
3. (社)日本建築学会 第23回安全工学シンポジウム実行委員会  
Tel. 03 (3456) 2057 FAX 03 (3456) 2058
4. 講演申込締切: 1993年8月20日(金)

## 第36回 自動制御連合講演会

1. 1993年10月27日(水)~29日(金)
2. 早稲田大学国際会議場(東京都新宿区西新宿)
3. (社)計測自動制御学会  
Tel. 03 (3814) 4121 FAX 03 (3814) 4699
4. 講演申込締切: 1993年7月15日(木)

## 教官募集



### ○大学等情報関係教官募集

#### 四條畷学園女子短期大学

**募集人員** 若干名（教授，助教授および専任講師）  
**専門分野** 経営実務へのコンピュータ応用のための情報処理関連の講義，演習担当（プログラミングの講義，演習担当可能な者が望ましい）。  
**応募資格** 原則として，博士の学位取得者で，教育研究の能力のある者，ただし，専任講師は大学院博士後期課程を単位取得の上修了した者でも可。  
**着任時期** 委細面談  
**提出書類** 履歴書，研究業績リスト，および主要論文の別刷，またはコピー。  
**応募締切** 平成5年5月31日 応募の順に選考します。  
**勤務場所** 四條畷学園女子短期大学  
**送付先** 574 大阪府大東市学園町6番45号  
 四條畷学園女子短期大学事務長 金田一郎  
**問合せ先** 同上 学長 山口益郎  
 Tel. 0720 (79) 7231 FAX 0720 (76) 4515

#### 山形県立米沢女子短期大学

**募集人員** 助教授または講師2名  
**所属** 社会情報学科（仮称）  
**担当科目** 情報処理分野  
**応募資格** 専門分野に研究業績があり，修士または同等以上の業績を有する者。できれば，UNIXのネットワークシステムに関心のある者が望ましい。  
**着任時期** 平成6年4月1日  
**応募締切** 平成5年5月12日  
**提出書類** 履歴書，研究業績リストおよびその概要  
**送付先** 992 米沢市通町6-15-1  
 山形県立米沢女子短期大学 教務厚生課「教員応募書類在中」と朱書。  
**問合せ先** 山形県立米沢女子短期大学 教務厚生課  
 Tel. 0238 (22) 7330 FAX 0238 (22) 7333

#### 文部省 高エネルギー物理学研究所

**募集人員** 助手1名  
**所属** データ処理センター  
**研究分野** データ処理センターに属し，計算機システムやネットワークの整備運用について分担すると共に，計算機に関連するハードウェア/ソフトウェアの研究開発に従事する。  
**着任時期** 採用決定後なるべく早い時期，任期なし。  
**提出書類** 履歴書，研究歴，発表論文リスト，論文別刷，本人に関する推薦書または2名以上による参考意見書（健康に関する所見を含む）。  
**応募締切** 平成5年5月31日  
**送付先** 305 つくば市大穂1-1  
 高エネルギー物理学研究所長 菅原寛孝「教官応募関係」と朱書。  
**問合せ先** センター総括主幹 平林洋美  
 Tel. 0298 (64) 5451  
 提出書類関係 管理部庶務課人事第二係  
 Tel. 0298 (64) 5118

#### 福岡工業大学電子機械工学科

**募集人員** 助教授1名

**所属** 電子機械工学科  
**専門分野** 電気・電子工学および関連分野  
**担当科目** 電子機械デバイス工学または自動化システム工学（アナログ回路，パワーエレクトロニクス，計測・制御関連科目）  
**応募資格** 電気・電子などの工学分野において業績があり工学博士の学位を有する，40歳以下の者。  
**着任時期** 平成6年4月1日  
**提出書類** 履歴書，研究業績リストおよび主要論文の別刷。  
**応募締切** 平成5年5月31日  
**送付先** 811-02 福岡市東区和白東 3-30-1  
 福岡工業大学教務課長 石田隆男  
 Tel. 092 (606) 3131 (内 2242)  
 FAX 092 (606) 8923  
**問合せ先** 福岡工業大学電子機械工学科教室主任 後藤穂積  
 (内 2314)  
 備考 大学院（計画中）の研究指導も可能な者。

#### 京都府立大学生生活科学部

**募集人員** 教授1名  
**所属** 生活科学部共通講座（保健体育学講座）  
**専門分野** 情報科学（データベースシステム，ソフトウェア工学，基礎理論など広い意味での情報科学を含む）。  
**担当科目** 情報関連科目（情報科学概論，計算機および演習など）。  
**応募資格** 情報科学関連の講義と計算機を使用する演習を担当できる他に，ハード面にもかなり知識があり，学内の情報化作業にも熱意をもって取り組んでくださる50～58歳が望ましい。  
**採用予定** 平成5年10月～平成6年3月  
**応募締切** 平成5年6月1日  
**提出書類** 履歴書，研究業績一覧表，代表的な論文（10編程度）の別刷（各2部），研究概要，教育，研究に対する抱負，健康診断書，推薦の場合は推薦書，自薦の場合は本人について照会に応じられる人2名の氏名，連絡先。  
**送付先** 606 京都市左京区下鴨半木町1-5  
 京都府立大学生生活科学部 富田道男  
 「教員応募書類在中」と朱書し，書留。  
**問合せ先** 606 京都市左京区下鴨半木町1-5  
 京都府立大学生生活科学部 金井宏敏  
 Tel. 075 (781) 3131 Ext 224  
 FAX 075 (781) 3038

#### 旭川大学女子短期大学部

**募集人員** 教授，助教授または講師 それぞれの分野で各1名。  
**専門分野** (1)情報処理，歴史・文学  
 (2)保健体育  
**担当科目** (1)情報処理を主として歴史または文学  
 (2)幼児教育を主として保健体育・体育実技  
**応募資格** (1)博士課程もしくは修士課程修了者  
 (2)これらと同等以上の研究業績および学職経験を有する者  
**採用予定** 平成5年9月1日  
**応募締切** 平成5年5月31日  
**提出書類** 履歴書，研究業績目録，主要研究業績の現物またはコピー（3点以内），提出研究業績の要旨，最終学校の修了・卒業証明書，健康診断書（国・公立病院発行のもの），その他（例えば推薦書）。  
**応募締切** 平成5年5月31日  
**選考方法** 提出書類審査および面接  
**送付先** 079 旭川市永山3条23丁目1番9号  
 旭川大学女子短期大学部事務部庶務課  
 Tel. 0166 (48) 3121 (内 450)  
**問合せ先** 「教員応募書類在中」と朱書きし書留。

備考 詳細は事務部長小宮谷

**島根大学理学部情報科学科**

募集人員 助手 1 名  
所属講座 情報処理講座  
応募資格 修士の学位を有し（取得見込みも含む）年齢 30 歳以下が望ましい。  
採用予定 平成 5 年 7 月 1 日以後  
提出書類 履歴書、研究業績目録、主要論文の別刷もしくはコピー（10 編以内）、これまでの研究経過と今後の研究計画および教育への抱負（2,000 字以内）、自薦の場合は本人について所見を求め得る方 2 名以上の氏名、所属、職名、連絡先、他薦の場合は推薦書。  
応募締切 平成 5 年 5 月 31 日  
送付先 690 松江市西川津町 1060  
島根大学理学部情報科学科主任 門田良実  
問合せ先 同上 西村正太郎  
Tel. 0852 (32) 6477

**千葉大学工学部情報工学科**

募集人員 助手 1 名  
所属 知識情報学講座  
専門分野 情報工学、知識工学  
担当予定 自然言語処理、音声情報処理、ヒューマンインタフェース、対話理解、福祉情報工学など  
応募資格 専門分野に研究業績があり、教育および研究に熱意のある者。博士の学位を有するか、これと同等の研究能力があることが望ましい。  
着任時期 決定後なるべく早い時期。  
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文の別刷（コピーも可）。  
応募締切 平成 5 年 6 月 30 日  
問合せ先 263 千葉市稲毛区弥生町 1-33  
千葉大学工学部情報工学科教授 市川 薫(あきら)  
Tel. 043 (251) 1111 (ext. 3151)  
e-mail ichikawa@ics.tj.chiba-u.ac.jp

**愛知教育大学総合科学課程情報科学コース**

募集人員 助手 1 名  
専門分野 情報工学または計算機科学  
担当科目 情報基礎、言語情報処理、計算機システムのいずれか。  
応募資格 大学院修士課程修了以上の者で、研究上および教育上の能力があると認められる者。ただし、昭和 38 年 4 月 2 日から昭和 44 年 4 月 1 日までに生まれた者。  
着任時期 平成 5 年 10 月 1 以降  
提出書類 履歴書、研究業績一覧および論文別刷（コピーも可）、健康診断書、推薦書。  
応募締切 平成 5 年 6 月 30 日

送付先 448 刈谷市井ヶ谷町広沢 1  
愛知教育大学人事課人事係  
事務的な内容については  
人事課人事係 Tel. 0566 (36) 3111 (内 226)  
研究設備、研究環境など具体的内容については  
情報科学コース主任 北岡 武 (内 824)

**久留米工業大学電子情報工学科**

募集人員 助教授 1 名、助手 1 名  
所属 電子情報工学科  
専門分野 助教授 情報処理関連の授業を担当できる者。  
助手 上記分野の演習、実験、および研究指導できる者。  
助教授・助手ともワークステーション使用経験者が望ましい。  
応募資格 助教授 40 歳以下で博士号を有すること。または着任までに取得見込み。  
助手 30 歳未満で修士修了以上、または着任までに修了見込み。  
着任時期 平成 5 年 10 月 1 日、または平成 6 年 4 月 1 日  
提出書類 履歴書、業績リスト、主要論文別刷。  
応募締切 平成 5 年 6 月 30 日  
問合せ先 830 久留米市上津町 2228  
久留米工業大学電子情報工学科主任教授  
武石泰亮 Tel. 0942 (22) 2345 (内 364)

**愛媛大学工学部情報工学科**

募集人員 助教授または講師 1 名  
所属分野 情報システム工学講座  
専門分野 広い意味での科学計算システムまたはアルゴリズムの設計  
担当科目 計算機システム、オペレーティングシステムなど  
応募資格 情報関連分野で博士の学位を有するか同等の研究業績を持ち、大学院工学研究科の学生の指導が可能な者。なお、着任時に 35 歳程度までの年齢の者が望ましい。  
着任時期 平成 5 年中なるべく早い時期  
提出書類 履歴書、業績リスト、論文別刷、および著書、現在までの研究経過を系統的に要約したもの、今後の研究計画、推薦状、本人のことを問い合わせる方の名前（2 名）。  
応募締切 平成 5 年 7 月 30 日  
送付先 790 松山市文京町 3  
愛媛大学工学部情報工学科 野田松太郎  
「応募書類在中」と朱書き書留。  
問合せ先 同上 Tel. 0899 (24) 7111 (内 3708)  
FAX 0899 (26) 1416  
E-mail: noda@cs.ehime-u.ac.jp 不在の場合は同学科 高松雄三 (内 3703)

## 雑 報



### ○第2回 大川出版賞図書推薦のお願いについて

(財)大川情報通信基金(理事長 大川功)の設立5周年を記念して、1992年5月に創設されたもので、情報通信分野に関する優れた図書について、これを表彰し、著者に対して賞状と副賞として銀メダル、賞金1件あたり100万円を、また出版社には賞状と賞牌をそれぞれ贈る。年間3件以内を対象としている。

**推薦方法** 所定の大川出版賞候補推薦書に必要事項を記入のうえ、下記あてに送ってください。

**推薦締切** 1993年4月30日(金)

**問合せ先** 107 港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル31階

**推薦用紙** (株)CSK 内 (財)大川情報通信基金「大川出版賞」

**請求先** 事務局 Tel. 03(3505)6048 FAX 03(3582)2826  
松本, 前川

### ○島津科学技術振興財団「平成5年度研究開発助成および海外研修研究援助募集要綱」

#### ●研究開発助成

**助成対象** 科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究を対象とする。ただし、助成対象者は原則として45歳以下とする。

**助成内容** 上記研究に対し、助成金を交付する。援助金総額2,200万円、採択件数約15件、1件につき100万円～250万円。

**応募方法** 財団所定の研究開発助成申込用紙に必要事項を記入して、当財団に直接申込む。申込締切は9月30日とする。

**選考審査方法** 当財団に設置する選考委員会が選考し、理事会が審議し決定する。

**交付方法** 平成6年2月(予定)に開く贈呈式において助成金を交付する。

#### ●海外研修研究援助

**援助対象** 科学技術に関して、海外の権威ある研究機関に留学、あるいは海外で行われる研究集会に発表のため出席する研究者の有意義な研修活動を援助する。ただし、援助対象者は原則として40歳以下とする。

**援助内容** 援助件数：約26件(1件15万円)

**応募方法** 財団あて照会のこと、申込期限：4月、7月、10月、1月それぞれ末日(年4回)

**交付方法** 援助決定者には、各締切日より60日以内に銀行振込口座の問い合わせをし、2週間以内に振込みを行う。この振込をもって交付とする。

**連絡先** (財)島津科学技術振興財団事務局  
604 京都市中京区西ノ京下合町11  
Tel. 075 (823) 3240 FAX 075 (823) 3240

#### ○平成5年度技術士第1次(技術士補)試験

**申込期間** 平成5年5月10日(月)～21日(金)

**試験日** 平成5年10月10日(日)

**試験地** 札幌・仙台・東京・新潟・名古屋・大阪・広島・福岡

**受験資格** 年齢・学歴・業務経歴等による制限はありません。

**問合せ先** 105 港区虎ノ門 2-8-10 第15森ビル4階

**受付場所** (社)日本技術士会 技術士試験センター  
Tel. 03 (3591) 7110 (代)

#### ○1993年 Gordon Bell 賞対象者募集

平行処理の科学、技術分野への実的な応用面で優れた業績を挙げた者を対象として贈られる Gordon Bell 賞の対象者を以下の要領で募集している。

**申込分野** Performance, Price/performance, Compiler parallelization, Speedup

**最近の受賞例** Oil exploration/extraction, integrated Circuit design, evolution research, Space-shuttle modeling, turbulence simulation, mortgage-rate determination

**賞金総額** 3,000ドル

**申込方法** コンテスト参加者は3～4ページの summary を1993年5月31日までに下記あて送付すること。  
1993 Gordon Bell Prize  
c/o Marilyn Pates, IEEE Computer Society  
10662 Los Vaqueros Cir., PO Box 3014  
Los Alamitos, CA 90720-1264

**申込締切日** 1993年5月31日(月)

**発表** 11月の Supercomputing 93 において発表  
詳細については学会事務局国際係へお問い合わせください。 Tel. 03 (5322) 3535 土川

## 編集室



### 事務局日より

不況感の続く経済情勢のなか、時は確実に容赦なく過ぎて、学会の新年度開始の4月を迎えました。

本学会も情報処理関連企業の厳しい状況の影響からか、会員の増加が少なく、広告収入も大幅な減少など、大きな影響を受けていますが、平成5年度はなんとか収支トントンの予算を組めそうです。

情報処理分野の学術、技術の研究・開発は、不況に惑わされず、進めていくことが必要との認識を、事務局も持って取り組んでいこうと考えております。

ご高承のように学会の健全な運営は、会員個人個人の研鑽と学会活動への参加が一番の決め手であると言われてしています。そこで、会員の皆様も大変でしょうが、学会活動へのご参加、ご意見、ご支援をお願いする次第です。

おわりに、事務局の組織図を掲載いたしますので、ご活用とともに職員のご指導、ご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。(1993.3.25 飯塚 浩司)

#### 会員の声

●以前(2年前程度)は、内容がむずかしくその専門分野の人しか理解できないような論文が多かった。最近、一般の人にも理解できるような内容のものが多くなり良いと思う。またグラフ、表等多用されているのでわかりやすいと思う。(北村幸太)

有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・後援行事の次第書（論文募集、参加案内等）の会告欄掲載については、下記により  
 有料で取扱いますのでお知らせします。なお、会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。  
 また、教官募集欄の掲載は、平成4年4月号掲載分から、下記のとおり有料となりましたので、あわせてお知らせ  
 します。

記

1. 掲 載 条 件

件 名	内 容	掲載単位	掲 載 料 金	
行事次第書	国際会議、シンポジウム、講演会、 講習会等の論文募集・参加案内に 限る。	1 ページ または 1/2 ページ	(共 催)	
			1 ページ	50,000 円
			1/2 ページ	30,000 円
			(協賛・後援)	
			1 ページ	100,000 円
			1/2 ページ	60,000 円
教 官 募 集	学校またはその附属機関、公益法 人、官公庁およびその研究機関等 の教職員・研究員募集に限る。	1/5 ページ	1 件当り	20,000 円

2. 申 込 方 法

B 5 判任意の用紙で、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先等を記載し、掲載  
 希望原稿を添えて下記の申込先へお申込みください。

3. 原稿の書き方

行事次第書：原則としてB 5 判カメラレディとします。B 5 判以外の原稿は縮小または拡大となりますので  
 ご留意ください。なお、原稿作成にあたり様式（字の大きさ、ゴシック等）については、本誌  
 会告記載内容をご参照願います。  
 教職員募集：求人側の必要事項を明記してください。  
 なお、記事内容については本会は責任を負いません。

4. 申 込 期 限

毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します。

5. 掲 載 料 金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので、その翌月月末までにお支払いください。

6. 掲 載 申 込 先

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 階  
 (社)情報処理学会 有料会告係  
 Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

会 告

情報処理学会事務局組織図

平成5年 4月 1日

